

七、現に保有し又は就こうとする財閥、制限、從屬又は關係會社における役員としての地位

(一) 會社の名稱及び財閥系統(昭和二十年九月二日以降稱號變更があつた場合は舊稱號を含む)

日本電氣株式會社(旧稱住友通信工業株式會社)

住友系

(二) 財閥會社、制限會社、從屬會社又は關係會社の區分(財閥會社の場合には更に直系、準直系又は傍系の區分)

住友財閥の直系會社

(三) 地位

日本電氣株式會社常任監査役

(四) 就任の豫定日

該当事項なし

八、前項の他本人の保有するすべての身分及び職業

該当事項なし

九、財閥としての指定者との親族關係

(一) 關係の有無及び有りとすればその詳細(財閥同籍者との親族關係を含む)

該当事項なし

(二) 指定者か指定された日において指定者と同一戸籍内にあつたことの有無

該当事項なし

現に保有する役員としての地位は左記の通りである



7. Position of official in company which you hold or for which you are under consideration. ~~Position of official in company for which I am~~ **under consideration: None.**
- a. Name of company and the lineage of Zaibatsu where the company belongs. (In case name of the company has been changed after 2 September 1945 the former name will also be given.)

**Nippon Electric Company, Ltd. (Former Sumitomo Communication Industrial Company, Ltd.)**

**The company belongs to the lineage of Sumitomo Zaibatsu.**

- b. Classification of Zaibatsu, restricted, subsidiary or connected company (in the case of Zaibatsu company, the classification of the direct affiliate, indirect affiliate or associate company will also be given.)

**The direct affiliate of Sumitomo Zaibatsu.**

- c. Position

**Standing Auditor of Nippon Electric Company, Ltd.**

- d. Scheduled date of assumption of the position.

**None.**

8. All other positions and professions which you hold now.

**None.**

9. Family relationship with the persons designated as Zaibatsu.

- a. Existence or not of the relationship and its details, if any. (including relationship with the Zaibatsu family members.)

**None.**

- b. Whether or not you were on the same family register with the designated persons on the day of their designation.

**None.**



註一、本欄の會社團體とは財閥會社に限らずあらゆる會社團體を含むものとし、團體中特に組合、協會、協議會等の經濟團體については詳細に記入すること

註二、職務内容に關し本人の地位から當然豫想せられる職務を事實上擔當していなかつた場合には本人が實際に擔當していた職務内容及び本人に代わり當該地位の管轄たるべき職務を事實上擔當していた者の氏名を記入すること

註三、本人が役員として又は役員の待遇の地位にて勤務した會社が財閥會社たる場合には、左の事項を附記すること

- (1) 本人の役員としての就任及び退任の時における當該會社の株式の割以上の所有者の氏名及び持株率
- (2) 本人が勤務した期間における他の役員の氏名、地位及び就任退任年月日

就職及び退職日附	會社團體等の名稱	地位(職員たる場合を含む)	職務内容(詳細に)	會社團體等の事業内容及び所在地
大正六年四月四日	住友總本店入店	經理課調査係 勤務	經理關係調査係	株式會社住友本社 (住友合資會社) 所在 大隈町東區北浜五の三 事業内容 全住友事業の調整統合 東京事務所 滿洲における諸般の調査 連絡 東京販賣店 住友關係工場製品の販賣 (東京工業株式に改稱)
大正十年二月三日	住友合資會社入社			



大正十一年九月一日	同社東京販賣店	經理課長兼 査察課長兼庶務 係長	經理及庶務関係業務担当 販賣に肉する諸調査
昭和二年七月十九日	株式会社佐友倉庫 入社	検査役	常務取締役は直屬し倉庫全般 の業務を監察し一切の事務を 検査し之を報告す。
昭和十年一月二十六日	同社	本店支配人兼 庶務課長	常務取締役を輔佐し倉庫業務 務遂行の事務を担当す。
昭和十四年六月一日	株式会社佐友本社 入社	新京事務所長	内地よりの来訪者に對する世話と 行の旁々滿洲に於ける諸事務 の調査、事務連絡
昭和十四年七月一日	同社		
株式会社佐友倉庫 所在 大阪市西區川口町八の一 事業内容 倉庫事業			

(補助紙に續く)



10. Chronological record of profession and employment.

Note 1: "Organization or company" mentioned in this column include any organization or company other than Zaibatsu company. With reference to organizations, relationship with economic organizations such as union, association or conference etc. will particularly be given in detail.

Note 2: In case you did not, in fact, handle duties for which you have been authorized, duties and powers which you actually handled and name of the person who dealt with duties originally authorized for you will be given.

Note 3: With reference to the Zaibatsu company where you served as official or as a person accorded with the status of official, the following entries are additionally required.

a. Name and stock-holding percentage of stock-holders owning 10 per cent or more of the total stock of the company at the time of your assumption of office and retirement.

b. Name, position and dates of appointment and retirement of other officials of the company during the period when you served.

Dates of employment and retirement.	Name of company or organization where you served.	Status of the position (including position as ordinary personnel.)	Duties and powers (in detail).	Substance of business of organization or company where you served and its location.
Apr. 4, '17	Sumitomo General Head Office Ltd.	Investigation Section, Financial Department.	Investigation of Financial business.	
Oct. 28, '21	Sumitomo Limited Partnership.			Sumitomo Ltd. Partnership (Later. Sumitomo Kosha Ltd. 23, 5-chome, Kitahaga, Higashi-ku, Osaka City. Business:
				Adjustment and amalgamation of the whole business of Sumitomo's enterprises.



註一

補助紙才三頁の(高橋)

日本電氣株式會社

就職及び退職日附	会社團體等の稱	地位(職員たる場合を含む)	職務内容	会社團體等及事業所在地
昭和十六年八月十二日	株式會社住友本社 東京販賣部	支配人	関東方面に於ける住友各社製品販賣に付全般の事務を管理す。	
昭和十八年十一月十五日	同社	東京業務所長(改稱)		
昭和二十年十月三十日	住友通信工業株式會社	監査役就任	住友通信工業に於ける事業經營の適法性及び妥當性に付経理上の監査を司す。	
昭和二十年十一月一日	住友通信工業株式會社 より日本電氣株式會社に 社名変更			日本電氣株式會社 所在 東京都港区芝浦三丁目四番地 事業内容 電話機、交換機、放送無線装置、搬送式電信電話装置、電氣計器、電送装置、電氣計器、真空管等電氣に関する装置、機械器具の製造販賣



2

補助役員等(専務)

日本電気株式会社

就職及び退職日附	会社団体等の 名称	地位 (職員たる 場合を含む)	職務内容	会社団体 の業務内 容等
自昭和二十一年一月 至現在	日本電気株式会社	常任監査役就任	監査役 (職務内容は右各条)の 中互選により(監査)せら れ在りて常時会社 にあり。	
昭和十六年九月 至二十一年十一月	東京電気業組合	理事	豫決算を議し懇親会 表式等列す 毎年度の会合ありのみと 其の特記なき活動(無答)	
〃〃	航空工業人会	幹事	同會十四部門の一(鉄鋼 以外の金属材料部門)を 持ち総裁會長其他 役員の指しより幹事 会に列布し又本邦指 示の傳達調査に任ず 毎月一回程度の幹事会に 列し會長を議長等 陪席す(無答)	



3

補脚 三頁 三頁 三頁

就職及び退職日附	会社団体等の 名稱	地位 (職員たる 場合を含む)	職務内容	会社団体 の業務内 容等
自昭和十六年九月 至昭和二十年十一月	電氣協會関東支部	委員	格別のものなし 年一兩度の会合あり 支部報告を総会前に報 告する程度 其の他 特記すべき活動なし (無給)	
自昭和十年六月 至昭和十四年六月	株式会社富島組	監査役兼任	投資会社より住友倉庫 より派遣せられたる事業経営 の適法性・妥当性に付 経理上の監査をなす	所在 大阪市北区字是町 大丸別館内
自昭和十六年十月 至昭和二十年十一月	日東金屬株式会社	監査役兼任	投資会社より住友金屬 工業株式会社より派遣せ られたる事業経営の適法 性・妥当性に付き経理 上の監査をなす	所在 東京都板橋区 長後町一、二〇〇
自昭和十七年十二月 至昭和二十年十一月	鐵道電氣工業株式会社	取締役兼任	投資会社より住友電氣 工業株式会社より派遣 せられたる日常の業務に關 與せず経営の運行に付 相談に應ず	所在 東京都台東区 同朋町四

日本電氣株式會社



補助役員三員の四(第4)

日本電気株式会社

註三	註四
就職及び退職日附 自昭和三十年十一月二十日 至、二十一年十二月三十日	就職及び退職日附 自昭和三十年十一月十八日 至、二十一年十二月十五日
会社団体等の 名 日本電気精製株式会社	会社団体等の 名 日本通信工業株式会社
地位 (職員たる 場合を含む) 監査役兼任	地位 (職員たる 場合を含む) 監査役兼任
職務内容 投資会社たる日本電気 株式会社より派遣せられ 事業経営の適法性 妥當性に付経理上の 監査をなす。	職務内容 投資会社たる日本電気 株式会社より派遣せられ 事業経営の適法性 妥當性に付経理上の 監査をなす。
会社団体等 の事業内容等 及 所在地 。所在 東京都東区清川町三丁目 。事業内容 。通信用支通用 。水産用その他一般電 動機発電機等製造	会社団体等 の事業内容等 及 所在地 。所在 神奈川県横浜市見方六丁目 。事業内容 。ラジオコンデンサー、変圧 器、其他電気機器 等の製造
	自昭和十四年七月一日 至、十六年八月十三日
	満洲住友金属工業株式会社
	支事兼任(無給)
	名目のみにて事務 全々なし
	。所在 旧満洲國奉天市鉄西区 勸工街四段二丁目 。事業内容 。鋼鋼品、鋼鋼品 の製造



補助員中三自り五(専任)

日本電気株式会社

就職及び退職日附	会社団体等の 名稱	地位 (職員たる 場合を含む)	職務内容	会社団体等 の事業内容等 及び所在地
自昭和十九年二月一日 至、二十年一月二十五日	住友金属工業株式会社	参事兼任(兼務)	名目のみにて事務 人まゝなる	計在 大阪市此花区島屋町三 。事業内容 銅、亜鉛、アルミニウム その他非鉄金属、 パペー等の製造
自昭和十八年五月十一日 至、二十一年一月二十五日	住友電気工業株式会社	同右(同右)	同右	計在 大阪市此花区恩智島 。事業内容 各種電源、電線、超硬 質合金工具の製造
自昭和十九年七月十五日 至、二十一年一月二十五日	住友化学工業株式会社	同右(同右)	同右	計在 大阪市東区五ノ三 。事業内容 硫酸、硝酸、メタノール ホルマリン、その他工業薬 品、硫酸肥料



補助紙才三頁の六 (高橋)

日本電氣株式會社

註一、

住友通信工業株式會社(現日本電氣株式會社)住友財閥直系會社

役員在任中に於ける同社一割以上の株主及び他の役員は、

左記の通りである。

(1) 監査役就任の時(昭三、十一、三〇)に於ける同社一割以上の株式所有者

氏名

持株率

株式會社 住友本社

一一、〇八一%

(2) 監査役在任中に於ける他の役員

氏名	地位	就任月日	退任月日
梶井 剛	社長	昭一八、二、二〇	昭二一、一、二一
佐伯 長生	事務取締役	一九、二、二三	"
丹羽 保次郎	常務取締役	一六、四、九	"
渡辺 斌衛	"	二〇、十一、一五	二二、六、二五



補助紙第三頁の七

(高橋)

日本電氣株式會社

氏名	地位	就任年月日	退任年月日
佐田 銓太郎	取締役	昭三〇、一、三〇	昭二二、六、二五
土方 鹿之助	"	"	"
楊井 勇三	"	"	昭二二、一、二一
乾 政彦	監査役	"	現在



高橋

補助紙が三頁の八(高橋)

日本電気株式会社

註二

(1) 日本電気株式会社常任監査役就任の時(昭二二、一、三)に於ける同社一割以上の株式所有者

氏名	持株率
株式会社佐友本社	一、〇八%

(2) 常任監査役就任より現在に至るまでの期間に於ける他の役員

氏名	地位	就任月日	退任月日
佐伯長生	社長	昭二一、一、二一	昭二二、六、二五
渡辺武衛	“	“二二、六、二五	現任
“	常務取締役	“二〇、一、一五	昭二二、六、二五
丹羽保次郎	専務取締役	“二一、一、二一	“二二、六、三
片岡銚太郎	“	“二二、六、二五	現任



(51-B)

補助員才三頁の九(高橋)

乾	嶋津保次郎	田尾本政一	小林正次	岩里好徳	楊井勇三	平田祖助	"	土方鹿之助	片岡銓太郎	代名
政彦	"	"	"	"	"	"	取締	常務取締	取締	地位
監査	"	"	"	"	"	"	"	"	昭二〇一	就任月日
一	"	"	"	二二	二〇	二一	二〇	二二	二〇一	日
三〇	"	"	"	一三	一一	五	一一	六	二一	日
"	"	"	"	二五	三〇	三〇	三〇	三五	二五	日
"	"	"	"	現	昭二一	現	昭二二	現	昭二二	退任月日
"	"	"	"	在	一一	在	六	在	六	日
"	"	"	"	在	一	在	二五	在	二五	日

日本電氣株式會社

(東京 49)



補助簿中三頁の十(男)欄

日本電気株式会社

註三

日本電気精器株式会社(任友財肉傍系会社)監査役兼任中に於ける同社一割以上の株主及び他の役員は左記の通りである。

(1) 監査役就任の時(昭二〇・一・三〇)及び退任の時(昭二二・三・三〇)に於ける

同社一割以上の株式所有者

就任年月日	氏名	持株率
昭和二十年十一月二十日	日本電気株式会社	五三・七%
昭和二十一年十二月二十四日	日本電気株式会社	五三・七%

(2) 監査役兼任期間中に於ける他の役員

氏名	地位	就任月日	退任月日
梶井 剛	取締役会長	昭一五・五・二六	昭二一・四・一七



補助員中三自の上(身橋)

田尾本政一	佐伯長士	小林吉夫	飯村三六	小穴秀治	"	中島毅一	"	蛭川八郎	"	島田勉	"	木口時次郎
監査役	"	"	取締役	取締役	常務取締役	取締役	常務取締役	取締役	専務取締役	常務取締役	社長	取締役
昭二〇、一一、三〇	昭一七、一六、三〇	昭二一、一〇、九	昭二〇、一一、三〇	昭一五、一六、二八	昭三三、一〇、一〇	昭二〇、十一、二〇	昭三二、一〇、一〇	昭一九、一一、二九	昭三一、一〇、一〇	昭一八、一三、二九	昭二一、四、一七	昭二〇、一一、二〇
昭二一、一六、三〇	昭二一、一六、三〇	"	現	昭二二、一、一五	現	昭二二、一〇、一〇	現	昭二二、一〇、一〇	現	昭二一、一〇、一〇	現	昭二二、四、一七
			北		北		北		北		北	

日本電氣株式會社



補助員中三百〇十二(男)

日本電氣株式會社

平井悟郎	常務取締役	昭五 一三 二八	昭二 一〇 九
山田多計治	取締役	" 一八 一三 二九	現 北
向山均	取締役社長	" 一八 一三 二九	昭三 四 一七
山根精	専務取締役	" "	" 三〇 十二 二〇



補助残才三百の十三(第稿)

日本電氣株式會社

註四

日本通信工業株式會社(住友財閥傍系會社)監查役兼任中に於ける  
同社一割以上の株主及び他の役員は左記の通りである。

(1) 監查役就任の時(昭二〇一〇二八)及び退任の時(昭二一〇一五)に於ける  
同社一割以上の株式所有者

就退任年月日	氏名	持株率
昭和二十年十一月二十八日	住友通信工業株式會社	四八〇三%
昭和二十一年十一月十五日	日本電氣株式會社	四八〇三%

(2) 監查役兼任任期中に於ける他の役員

氏名	地位	就任月日	退任月日
針谷錦次	取締役	昭一〇一八〇一〇	昭二一〇一五二九



補期満才三自り十四(身橋)

氏名	地位	就任月日	退任月日
針谷 錦次	常務取締役	昭二・五・二九	現任 在
湊 才次郎	取締役社長	" 二・四・一九	"
梶井 剛	取締役會長	" 一八・七・一四	昭二・ <del>五</del> ・ <del>二九</del> 井
佐伯 長生	取締役	" 一八・七・一四	" 二・五・二九
田尾本 政一	監査役	" 一九・一・二八	" 二・六・五
白井 武	専務取締役	" 二〇・一・二八	" 二・四・三〇
西宮 元	取締役	" 二〇・二・二八	現任 在
米山 一	取締役	" 二一・五・二九	"

日本電氣株式會社



10.

Dates of employment and retirement.	Number of company or organization where you served.	Status of the position (including position as ordinary personnel.)	Duties and powers (in detail).	Substance of business of organization or company where you served and its location.
Jan. 16, 1935	Sumitomo General Warehouse Manager and Co., Ltd.	General Assistant Executive Director and Managing Det. business of (concurrent) warehouse.		
June 10, '39	Sumitomo Head Office Ltd.			
July 1, 1939	Hsinking Office Sumitomo Head Office Ltd.	Manager of Hsinking Office	Service to the visitors from home land, besides, investigation and liaison business of various enterprises in Manchuria.	
Aug. 12, 1941	Tokyo Sales Office Sumitomo Head Office Ltd.	Manager	Administering the whole business concerning the sales of products of every companies of Sumitomo Head Office in Kanto District.	Tokyo Sales Office. Business: Sales of products of the companies under the control of Sumitomo Head Office.
Nov. 15, '43	Tokyo Business Office (Name of Tokyo Sales Office was changed as above)	Manager		



Dates of employment and retirement served.	Number of company organization where you served.	Status of the organization (including position as ordinary personnel.)	Duties and powers (in detail).	Substance of business of organization or company where you served and its location.
Nov. 30, '45 (Refer to Note No. 1)	Sumitomo Communication Industrial Co., Ltd.	Auditor	Financial inspection of legitimacy and adequacy of the management of Sumitomo Communication Industrial Co., Ltd.	Shikoku-machi, Shiba, Minato-ku, Tokyo. Business: Manufacture and sales of telephone, switchboard, broadcasting radio equip't carrier telephone and telegraph equip't, picture transmission equip't, electrical meters and tubes, etc.
Dec. 1, '45	The name of Sumitomo Communication Industrial Co., Ltd. was changed to Nippon Electric Co., Ltd.			
Jan. 21, '46 (Refer to Note 2.)	Nippon Electric Co., Ltd.	Standing Auditor	Elected from among Auditors and is attending the Company regularly (duties and responsibilities are the same as mentioned above.	

- Continued to separate sheet -



10.

Dates of employment and retirement	Number of company organization where you served.	Status of the position (including position as ordinary personnel.)	Duties and powers (in detail).	Substance of business of organization or company where you served and its location.
Sept. 1941- Nov. 1945	Tokyo Electric Industries Association (Tokyo Denki Gyo Kumiai)	Director	Discussing budget and account settling attending reunions and commending ceremonies. No special activity except having a meeting per one year (Free service)	
-F-	Aerial Industries Association (Koku Kogyo Kai.)	Secretary	Being in charge of business of Metal Dept. (one of fourteen Dept. of the association) not including Steel Section. Attending secretary meeting to issue instructions and make investigation by order of officials such as president or chairman, and attended meetings (once a month for each) of councillors, chief of productive Dept and general. (Free service)	
Sept. 1941- Nov. 1945.	Kanto Branch, Electric Association (Denki Kyokai Kanto Shibu)	Councillor	No special duty. Attended one or two meetings to which the reports on financial status and others of the branch were submitted. (Free service)	

-Continued to Separate sheet -



10.

Dates of employment and retirement	Number of company organization where you served.	Status of the position (including position as ordinary personnel.)	Duties and powers (in detail).	Substance of business of organization of company where you served and its location.
June 1935- June 1939	Tomijimagami Company, Ltd.	Auditor (Concurrent)	Being dispatched c/o Annex Warehouse Building, (Parent Company) to audit legitimacy and adequacy of financial management of Tomijimagami.	Munakore-machi, Kitaku, Osaka.
Oct. 1941- Nov. 1945	Nitto Metal Co., Ltd.	Auditor (concurrent)	Being dispatched from Sumitomo Metal Industrial Co., Ltd. (Parent Company) to audit legitimacy and adequacy of financial management of the said company.	1200, Chogomachi, Itabashi-ku, Tokyo.
Dec. 1942- Nov. 1945	Railway Electric Industrial Co., Ltd.	Director (concurrent)	Being dispatched from Sumitomo Electric Industrial Co., Ltd. (Parent Co.) to consult with business affair of the said company.	4, Donsai-cho, Daito-ku, Tokyo.
Nov. 20, '45 - Dec. 24, '46 (Refer to Note 3.)	Nippon Electric Industry Co., Ltd.	Auditor (concurrent)	Being dispatched from Nippon Electric Co., Ltd. (Parent Co.) to audit legitimacy and adequacy of financial management of the said company.	12, 3-chome, Kiyokawa-cho, Daito-ku, Tokyo. Business: Manufacture of motor and generator for communication, transportation and fishing use.

- Continued to Separate sheet -



Dates of employment and retirement	Number of company organization where you served.	Status of the position (including position as ordinary personnel.)	Duties and powers (in detail).	Substance of business of organization or company where you served and its location.
Nov.28,'45- Dec.15,'46 (Refer to Note 4)	Nippon Communication Industrial Co., Ltd.	Auditor (concurrent)	Being despatched from Nippon Electric Co., Ltd. (Parent Co.) to audit legitimacy and adequacy of financial management of the said company.	260, Kitamitaka, Kawasaki City, Kanagawa Pref. Business: Manufacture of radio set, condenser, transformer and other electrical apparatus.
July 1,'39- Aug.12,'46	Manchuria Sumitomo Metal Industrial Co., Ltd.	Councillor (concurrent)	The position being nominal without actual duty.  (Free service)	Nigo, Yondan, Kankogai, Tessaiki-ku, Changchun, Manchuria. Business: Manufacture of cast iron products and wrought steel products.
Feb.1,'43- Jan.25,'46	Sumitomo Metal Industrial Co., Ltd.	Councillor (concurrent)	-" (Free service)	37, Shinaya-cho, Konohana-ku, Osaka. Business: Manufacture of rolled products of copper, zinc, aluminium, other non iron metals and propeller.



Dates of employment and retirement	Number of company and organization where you served.	Status of the position (including position as ordinary personnel.)	Duties and powers (in detail).	Substance of business of organization or company where you served and its location.
May 11, '43- Jan. 25, '46	Sumitomo Electric Industrial Co., Ltd.	Councillor (concurrent)	The position being nominal without actual duty (Free service)	60, Minamino-cho, Okijima, Konohana-ku, Osaka City. Business: Manufacture of electric wire, cable and ultra hard alloy tools.
July 21, '43- Jan. 25, 1946	Sumitomo Chemical Industrial Co., Ltd.	-"- ( -"- )	-"- ( -"- )	22, 5-chome, Kitahama, Higashi-ku, Osaka City. Business: Manufacturing sulphuric acid, Nitric Acid, methanol, formalin, other chemicals and fertilizer such as Ammonium sulphate.



10. Chronological record of profession and employment (cont'd)

Note 1.

- (a) Name and stock-holding percentage of stock holders owning 10 per cent or more of total stock of Sumitomo Communication Industrial Company Ltd. (Later Nippon Electric Company Ltd., a direct affiliate of Sumitomo Zaibatsu) during the period when I took the post of Auditor.

<u>Name</u>	<u>Stock-holding percentage</u>
Sumitomo Head Office Ltd.	11.081

- (b) Name, position and dates of appointment and retirement of other officials of Sumitomo Communication Industrial Company Ltd. during the period when I took the post of Auditor of the said company.

<u>Name</u>	<u>Position</u>	<u>Date of Assumption</u>	<u>Date of Retirement</u>
Kajii, Takeshi	President	Feb. 20, 1943	Jan. 31, 1946
Sasaki, Nagao	Managing Director	Feb. 23, 1944	Jan. 21, 1946
Niwa, Yasujiro	Executive Director	Apr. 9, 1941	Jan. 21, 1946
Watanabe, Tashihide	"	Nov. 15, 1945	June 25, 1947
Kataoka, Sentaro	Director	Nov. 30, 1945	June 25, 1947
Hijikata, Shikanosuke	"	Nov. 30, 1945	June 25, 1947
Yanai, Yuzo	"	Nov. 30, 1945	Dec. 1, 1946
Inui, Masahiko	Auditor	Nov. 30, 1945-	Present

Note 2.

(a)

- Name and stock-holding percentage of stock holders owning 10 per cent or more of total stock of Nippon Electric Company Ltd. at the time of my assumption of the post of standing auditor.

<u>Name</u>	<u>Stock-holding percentage</u>
Sumitomo Head Office Ltd.	11.080

- (b) Name, position and dates of appointment and retirement of other officials of Nippon Electric Company Ltd. during the period when I took the post of standing auditor of the said company.



Name	Position	Date of Assumption	Date of Retirement
Saeki, Nagao	President	Jan. 21, 1946	June 25, 1947
Watanabe, Toshihide	"	June 25, 1947	Present
"	Executive Director	Nov. 15, 1945	June 25, 1947
Niwa, Yasujiro	Managing Director	Jan. 21, 1946	June 3, 1947
Kataoka, Sentaro	"	June 25, 1947	Present
"	Director	Nov. 30, 1945	June 25, 1947
Hijkata, Shikanosuke	Executive Director	June 25, 1947	Present
"	Director	Nov. 30, 1945	June 25, 1947
Hirata, Sosuke	"	May 30, 1946	Present
Yanai, Yuzo	"	Nov. 30, 1945	Dec. 1, 1946
Iwadare, Yoshinori	"	Dec. 26, 1947	Present
Kobayashi, Masatsugu	"	Dec. 26, 1947	Present
Tanoto, Masaichi	"	Dec. 26, 1947	Present
Shimazu, Yasujiro	"	Dec. 26, 1947	Present
Inui, Masahiko	Auditor	Nov. 30, 1945	Present

Note 3

(a) Name and stock-holding percentage of stock holders owning 10 per cent or more of total stock of Nippon Electric Industry Instrument Company Ltd. (an associated company of Sumitomo Zaibatsu) during the period when I took the post of auditor concurrently.

Name	Stock-holding percentage	At the time of
Nippon Electric Co., Ltd.	53.7	Assumption as on 20th Nov. 1945
"	53.7	Retirement as on 24th Dec. 1946

(b) Name, position and dates of appointment and retirement of other officials of Nippon Electric Industry Company, Limited, during the period when I took the post of auditor of the said company concurrently.

Name	Position	Date of Assumption	Date of Retirement
Kajii, Takeshi	Chairman of the Board of Director, Director	May 26, 1940	Apr. 17, 1946
Kiguchi, Tokijiro	Director	Nov. 20, 1945	Apr. 17, 1946
"	President	Apr. 17, 1946	Present
Shimada Tsutomu	Executive Director	Dec. 29, 1945	Oct. 10, 1946
"	Managing Director	Oct. 10, 1946	Present
Hirukawa Hachiro	Director	Nov. 29, 1944	Oct. 10, 1946
"	Executive Director	Oct. 10, 1946	Present
Nakajima, Kitchi	Director	Nov. 20, 1945	Oct. 10, 1946



Name	Position	Date of Assumption	Date of Retirement
Nakajima, Kiichi	Executive Director	Oct. 10, 1946	- Present
Oana, Hideji	Director	June 28, 1940	Jan. 15, 1947
Iimura, Sanroku	"	Nov. 20, 1945	- Present
Kobayashi, Yoshio	"	Oct. 9, 1945	- Present
Saeki, Nagao	"	June 30, 1942	June 30, 1946
Tanoto, Masaichi	Auditor	Nov. 20, 1945	June 30, 1946
Hirai, Goro	Executive Director	Dec. 28, 1940	Oct. 9, 1946
Yanada, Takeji	Director	Dec. 29, 1945	- Present
Nakoyama, Hitoshi	President	Dec. 29, 1945	Apr. 17, 1946
Yamane, Tadashi	Managing Director	Dec. 29, 1945	Dec. 20, 1945

## Note 4.

(a) Name and stock-holding percentage of stock holders owning 10 per cent or more of total stock of Nippon Communication Industrial Company Ltd. (an associated company of Sumitomo Zaibatsu) during the period when I took the post of Auditor of the above company concurrently.

Name	Stock-holding percentage	At the time of
Sumitomo Communication Industrial Co., Ltd.	48.03	Assumption as on 28th Nov. 1945
Nippon Electric Company Ltd.	48.03	Retirement as on 15th Dec. 1945

(b) Name, position and dates of appointment and retirement of other officials of Nippon Communication Industrial Company Ltd. during the period when I took the post of auditor of the same company concurrently.

Name	Position	Date of Assumption	Date of Retirement
Hariya, Kinji	Director	Aug. 10, 1937	May 29, 1946
"	Executive Director	May 29, 1945	- Present
Minato, Saijiro	President	Apr. 19, 1945	- Present
Kajii, Takeshi	Chairman of the Board of Director, Director	July 14, 1943	Jan. 31, 1946
Saeki, Nagao	Director	July 14, 1943	May 29, 1946
Tanoto, Masaichi	Auditor	Nov. 28, 1944	June 5, 1946
Hirai, Takeshi	Managing Director	Nov. 28, 1945	Apr. 30, 1946
Nishimiya, Gen	Director	Nov. 28, 1945	- Present
Yoneyama, Hajime	"	May 29, 1946	- Present



	東京支店 東京支店 東京支店	東京支店 東京支店 東京支店	Business of Banking Office: various investi- gation in Manchuria and communication between both Head Office and this office. Business of Tokyo Sales Office (Later Tokyo Business Office): Sales of products manufactured by overall plants in the lineage of Sumitomo Honsha Ltd.
Sept. 1, 1922	Tokyo Sales Manager Office, Sumitomo Ltd. Dept., Partnership.	Head of Investi- gation Section (concurrent), Head of General Affair Section (concurrent)	In charge of the business of finance and general affairs and various investi- gations upon sales business.
July 19, 1927	Sumitomo Warehouse Co., Ltd.	Inspector.	Directly belonging Sumitomo to the Executive Warehouse Director, to inspect Co., Ltd. business of the 1,8-chome, warehouse as a Kawaguchi- machi, Nishi- whole business and ku, Osaka make a report on City. it. Business: Warehousing.

- continued to separate sheet -



Page 4

11. At the time of your assumption of office as official, whether or not the arrangement that the previous approval be obtained from the Zaibatsu or the direct Zaibatsu affiliate regarding assumption of the position of official existed between the Zaibatsu company where you served and the Zaibatsu or the direct Zaibatsu affiliates.
  - a. Whether or not the arrangement existed in writing.

None.

- b. Details of circumstances under which you assumed the position of official; particularly whether or not the Zaibatsu or the direct Zaibatsu affiliate was concerned in approving your assumption of office.

Details are given in the separate petition.



	<p style="text-align: center;">和 文 通 信 有 限 公 司</p>	<p style="text-align: center;">信 用 部 長 官 書</p>	<p>Business of Sinking Office: various investi- gation in Manchuria and communication between both Head Office and this office. Business of Tokyo Sales Office (Later Tokyo Business Office): Sales of products manufactured by overall plants in the lineage of Sumitomo Honsha Ltd.</p>
<p>Sept. 1, 1922</p>	<p>Tokyo Sales Manager Office, Sumitomo Ltd. Dept., Partnership.</p>	<p>Head of Investigation Section (concurrent), Head of General Affair section (concurrent)</p>	<p>In charge of the business of finance and general affairs and various investi- gations upon sales business.</p>
<p>July 19, 1927</p>	<p>Sumitomo Warehouse Co., Ltd.</p>	<p>Inspector.</p>	<p>Directly belonging Sumitomo to the Executive Warehouse Director, to inspect Co., Ltd. business of the 1,8-chome, warehouse as a Kawaguchi- whole business and machi, Nishi- make a report on ku, Osaka it. City. Business: Warehousing.</p>

- Continued to Separate sheet -



十一、本人の役員就任當時その勤務した財閥会社と財閥又は財閥直系会社との間に役員としての就任についての事前承認を必要とする旨の取極の有無

(一) 明文の取極の有無

明文の取極ありし

(二) 本人の役員としての就任の事情の詳細、特にその就任につき財閥又は財閥直系会社が關與した事實の有無

別紙申請理由書に詳細記載あり



Page 4

11. At the time of your assumption of office as official, whether or not the arrangement that the previous approval be obtained from the Zaibatsu or the direct Zaibatsu affiliate regarding assumption of the position of official existed between the Zaibatsu company where you served and the Zaibatsu or the direct Zaibatsu affiliates.

a. Whether or not the arrangement existed in writing.

None.

b. Details of circumstances under which you assumed the position of official; particularly whether or not the Zaibatsu or the direct Zaibatsu affiliate was concerned in approving your assumption of office.

Details are given in the separate petition.



昭和二十三年二月五日

「この調査表の記載は眞實であり且つ完全であることを確言する、又私はこの調査表の重要な事項について虚偽又は事實をかくした記載があるときは財閥同族支配力排除法第三十一條の規定により處罰せられることを諒承してをる旨申し添える」

署名

高橋





Page 5

12. Date

Feb. 5, 1946.

13. I hereby certify that entries made in this questionnaire are true and complete. I further add that I understand that entries false or lacking full and complete disclosure on relevant or material matters in this questionnaire will subject me to penalty in accordance with the provisions of Article 31 of the Law for Termination of the Zaibatsu Family Control.

Signature

*H. Takahashi*



APPROVED *Nov. 31 1948*  
承認 昭知23年-113/11

信友 1406

高橋

Mr. Tetsu Katayama  
Prime Minister

*Misao Ueda*

Feb. 5th, 1948.

Petition for Approval of Non-Zaibatsu Official.

Now that the Law of Termination of the Zaibatsu Family Control has become effective, I hereby submit a petition to you, the Prime Minister of Japanese Government, for the approval that I do not fall under the category designated as official of Zaibatsu concerns although I had been an auditor of Nippon Electric Co., Ltd. from Nov. 30, 1945 up to present which places me under the designate specified in Art. 3, Section 2, Paragraph 2, of said Law for the reasons of having sufficient and accurate proof, as provided in Article 7, Section 2, Paragraph 2 of said Law, as follows:

In 1917 I joined Sumitomo General Head Office Ltd., belonging to Investigation Section, Financial Depart, and since then as mentioned in my answer to Personnel Questionnaire had been in charge of the business of finance and sales of the same company. In Nov. 1943 I was appointed to the post of manager of Tokyo Business Office of Sumitomo Honsha Tokyo Sales Office, where I had been managing the sales of products manufactured by all the Sumitomo Companies up to the termination of the War. During this period I never assumed the official post of any company belonging to Sumitomo Zaibatsu, regardless of whether it was a direct affiliate or indirect affiliate or associate of said Zaibatsu.

No sooner than the policy of liquidation of Zaibatsu in Japan was revealed by Supreme Commander of Allied Forces on 18th, Sept., 1945, after the termination of the War Sumitomo Honsha decided formally to dissolve its organization and disclosed this matter internally to the appointees of Sumitomo Honsha on 24th, October of the same year, and then announced it to the public on 6th, Nov. 1945.

Subsequently, Tokyo Business Office was also dissolved, so that I was release of from said post. I, however, became an auditor of Nippon Electric Company, as requested, on 30th, Nov. 1945 for the reasons that as I was living in Tokyo at that time and also had some experience of financial business so that I was considered to have good qualification for auditor.

Another reason was that, after Mr. S. Kawai and Mr. K. Oshima, both from Sumitomo Honsha to represent its interest, had resigned from the auditorship of Nippon Electric Co. on Nov. 30th, 1945, I was selected to take their place by the company without any control by Sumitomo Honsha purely for my ability to perform the routine auditing and for my impartiality.



When I became Auditor of Nippon Electric Co., there no longer was any agreement requiring approval of Sumitomo Honsha concerning my appointment between Nippon Electric Company, Ltd. and Sumitomo Honsha, and I was not even referred to the approval of Sumitomo Honsha, as Sumitomo Honsha itself was already dissolved on Nov. 8, 1945. These are quite apparent, as stated in reference, "Regulations of personnel control of Sumitomo and its actual handling" submitted by Sumitomo Honsha.

When a post of standing auditor was newly set up in Nippon Electric Company in Jan. 1946, I took this post by mutual choice of auditors, and since then I have been auditing at the company as standing auditor up to the present.

Later I assumed the post of auditors of Nippon Electric Industry Company, Ltd. and Nippon Communication Industrial Company, Ltd. on 20th, Nov. 1945 and 28th, Nov. same year respectively. This doesn't fall under the category of officials of Zaibatsu concerns designated by Art. No.3 of the Law of Termination of the Zaibatsu Family Control in the least: my duty was only to act as a financial liaison between Nippon Electric Company and the abovementioned companies.

With the promulgation of Imperial Ordinance No.567 (with reference to clerk of securities and restriction thereof) in 1946, I retired from said posts at both companies.

As mentioned above, I have no family relationship with Sumitomo Zaibatsu, never had taken any post of executive director of direct affiliate of Sumitomo Honsha or of highest representative official of associated companies. There was not any agreement or requirement of approval by Sumitomo Honsha when I became an auditor of Nippon Electric Company, Ltd.

The posts of officials of Zaibatsu concerns that I assumed since Nov. 1945 were Auditors of Nippon Electric Company, Ltd., Nippon Electric Industry Company, Ltd. and Nippon Communication Industrial Company, Ltd., and therefore, it is clear that I did not hold more than four concurrent posts of associated companies.

In addition, I have never participated in execution of important business of Zaibatsu concerns and never contributed in any way to the formation and maintenance of Zaibatsu.



Thus, I have made myself clear, that for the reasons stated above I sincerely do not believe I should be subjected to Article 3, Section 2, Paragraph 2, for I have all the reasons that satisfy the provisions made in Article 7, Section 1 of the said Law.

*H. Takahashi*

.....  
Hiroshi Takahashi  
1052, Wadahan-machi,  
Suginami-ku, Tokyo.



REGARDING THE REGULATIONS OF PERSONNEL CONTROL  
IN SUMITOMO AND ITS ACTUAL HANDLING

---

The Sumitomo Honsha, Ltd.

1. A number of formula can be counted for the control and domination exercised by "Zaibatsu" Honsha over various companies under its affiliation, but, in Sumitomo, the formula to effect it through the "personnel" put in charge of operation of such companies was adopted.

In other words, by virtue of the share-holder's right in possession of the Sumitomo "Zaibatsu" - it is the Sumitomo Honsha that represents the right - the persons who represent the interest of Sumitomo in the capacity of the persons in charge of operation of such affiliated companies shall be selected and appointed, and by making them confer with, and ask for directions from, the Sumitomo Honsha prior to determining the will of affiliated companies on a certain category of matters, the Sumitomo's will was carried out on the activities of the companies concerned through such individuals.

2. In order to legislate this formula of control, as far as the Sumitomo was concerned, the Sumitomo Partnership Company, the predecessor company to the Sumitomo Honsha, legislated on the 19th May, 1921, "the Internal By-law regarding the officers of subsidiary companies and the other companies" (See attached paperA) and the Sumitomo Honsha inherited this and carried it along up to the date of its dissolution.

This "Internal By-law" was legislated as regulating-rules, but it never was released to be publicized even to the Honsha staff at large, and instead, it was treated as to be handed over secretly to only "the representatives for the interest of the Sumitomo Honsha" so as to make it the basic rules to abide by in their activities for, it is theoretically demanded that all the officers must act to the best of their individual responsibility for the interest of the whole shareholders and, consequently, it is not found appropriate to openly manifest that restrictions are exercised on their activities, and for this reason, it was handled as "Internal By-law" to be treated strictly confidential.



3. The pivot of this "Internal By-law" is the matters subjected to conference with the Sumitomo Honsha under the proviso in the Art. 2, but at the beginning, it was so ruled that irrespective of whether they were companies under Sumitomo's direct control or otherwise, they had to confer with the Honsha upon matters of same category. However, as the other companies than the companies under direct control (i.e., the subsidiary companies) hold quite a number of directors representing other companies, it very often happened that difficulties had to be encountered with in carrying out conferences beforehand to be able to act deservedly as the officers nominated by Sumitomo, as was provided in the "Internal By-law," and, on the other hand, since it was not necessarily imperative in reality to have them confer to the same extent as in the case of the subsidiary companies due partly to the fact that their enterprises were not the trunk enterprises for Sumitomo "Zaibatsu," the actual functions have been in practice left to the natural inclination that only consultations on cardinal principles were accepted, letting the "Internal By-law" remain idle as "Internal By-law," but the majority of business operation was left to the responsibility of the nominated officers. This being the case, it was decided to separate the "Internal By-law" which has stood as one into two kinds, i.e., "the Internal By-law regarding the officers of subsidiary companies" (see attached paper B) and "the Internal By-law regarding the officers of the quasi-affiliated companies," (see attached paper C) taking the opportunity of the revision of the contents of the "Internal By-law" effected on 14th January, 1938, and thus made them coordinate with the actual handling.

Consequently, since January 1938 downward, there have been in existence two kinds of "Internal By-laws regarding officers."

4. And, both of these two kinds of "Internal By-laws" define as to the scope of selection and appointment of those who, representing the interest of the Sumitomo Honsha, shall be appointed to officers of any companies and, in addition, the fact that the representatives for the interest in these companies shall be appointed by the Sumitomo Honsha. The said "Internal By-laws," however, do not define as to what person and what manner shall concretely be taken in appointing from within the scope of selection provided in Art. 1. Moreover, there is no article either that is provided for whether or not the total number of the officers



of any subsidiary company or affiliated company or any other company shall be occupied by the representatives for the interest of Sumitomo. In conclusion, who concretely is an "Appointee" is not clarified by any of the articles of the "Internal By-laws."

However, since these "Internal By-laws" were legislated so as to form the basic rules for the representatives of the interest of Sumitomo to abide by in their activities, a copy of the "Internal By-laws" was without fail handed over to any person whom the Sumitomo Honsha appointed as the representative for its interest and made it stand as the basic rules for his activities. Therefore, although there is no definition on what person shall be appointed as the representative for the interest, it falls on the fact that a copy of the "Internal By-laws" is handed over to one who is appointed, hence, one thing that is concretely clear is the fact that what is to be called in Sumitomo as "appointee" is the one who was handed over with a copy of these "Internal By-laws" as the result of this, even those who were officers of the subsidiary companies, unless they have been handed over with a copy of these "Internal By-laws," are not the ones who were "appointed" as the representatives of the interest of Sumitomo.

5. Then, what has been actually the scope of selection of the officers to whom the "Internal By-laws" were handed over? It has been at the beginning:

- (1) In the case of subsidiary companies, the total officers.
- (2) In the case of the quasi-affiliated companies and the other companies, the total officers despatched to them as the clerical staff of Sumitomo.

However, since then the scope of personnels to whom the "Internal By-laws" were handed over gradually diminished down and since May, 1940 downward, it has been confined to only those who assumed the posts of main officers (Presidents, Vice-presidents, Managing-directors, Standing-directors, and Standing-auditors) that were handed over with the "Internal By-laws."

The reason why the range of the representatives for the interest of Sumitomo - i.e., the appointed officers - has been diminished down and limited to the extent of the main officers only, was because of the companies under affiliation was



small, and the scope of persons coming under the category of main officers was limited to be a single Standing-director or so, the business of the companies grew larger thereafter and such posts as President, Vice-president, Managing-director, Standing-director, etc. were to be added, thus, even the number of main officers alone reached quite a high number. On the other hand, it has become unavoidable to have to allow such persons assume the posts of officers as standing of whom could be called anything but Sumitomo's representatives when taking into consideration their standing in comparison with those of the others in the community, or with the other staff in Sumitomo from the viewpoint of treatment in general, and then the rank of non-titled-officers was handled as though it were one of the extension ranks of the clerical-staff, but it has gradually come out to prove that treating only those main officers as representatives for the interest of Sumitomo would seem more justified with the actual circumstances. This fact can very well be certified from the fact that there is a clear manifestation on the Articles of Incorporation of the companies under Sumitomo's affiliation to the effect that the officers who have the right to represent Sumitomo interest are confined only to the main officers and that no such power is endowed to the non-titled-officers. Thus, it has always been the actual mode of handling and there has not been a written express statement that since May 1940 downward, the scope of handing over the "Internal By-laws" has been limited extremely among the main officers alone. However, as the copies of "Internal By-laws" were handed over, lists of recipients of such copies were made on each occasion, and, thereby the actual handling of such appointments can be well clarified. Since then, on the occasion of revising a part of the "Internal By-laws" on May 1944, it has been legislated, in order to clarify such customary handling in the past, in the form of an application for approval that was eventually approved (see attached paper D).

6. The scope of the appointed officers were as mentioned above, but let us see the actual instance of in what manner concretely did Sumitomo Honsha appoint these officers, in the following:



(1) In the case of the companies under its direct control (i.e., subsidiary companies), the top-men-in-charge of the operation of business of the companies, i.e., the President. - in case of non-existence of President-system, the Managing-directors; in case of non-existence of Managing-director-system, the Standing-directors - were appointed by the Sumitomo Honsha from its own initiative. Regarding the other main officers than the top-men-in-charge of business, there may be instances where Sumitomo Honsha takes the "initiative" to appoint them, but in general, they were left to the recommendation by or request from the top-men-in-charge of business and after selection, the Honsha appointed them to be the representative for its interest.

(2) In the case of companies called as affiliated companies of special relations out of the companies other than the subsidiary companies, the top officers appointed by the Sumitomo were similarly, as in the case of the subsidiary companies, selected and appointed by the Sumitomo Honsha on its own initiative. As for the main officers other than the top-men-in-responsibility, the appointment was handled in the similar manner as in the case of the subsidiary companies. (There were some among the affiliated companies of special relations that were handled exactly same as those referred to in (3) below.)

(3) The other quasi-affiliated companies than the affiliated companies of special relations were mainly consisted of the "son-companies" under control of the subsidiary companies and, therefore, the Sumitomo Honsha did not directly specify regarding appointments of their officers. It was the subsidiary companies, i.e., their parent companies that nominated them in accordance generally with the provisions in Art. 1. In such cases as mentioned above, not a single copy of the "Internal By-law" was handed over despite the standing practice set up by the Sumitomo Honsha, and there was no "Internal By-law" legislated as would clarify such relations.

7. The officers who were thus appointed acted in carrying out the business of the companies they were in charge of under direction of the Sumitomo Honsha on a certain group of matters in accordance with the provisions in Art. 2 of the "Internal By-law," but a word should be required on the standing of non-titled-directors and non-titled-auditors.



According to the provisions of Art. 2, "the agenda of the general meeting of the share-holders" are matters to be previously conferred with the Honsha. As the selection and appointment of the officers are one of the agenda of the general meeting of the shareholders, it proved that the officers appointed by Honsha to various companies consult with the Honsha on the selection and appointment of non-titled officers.

Since it is the general practice among all the joint-stock companies that they refer the proceedings of the general meeting of the share-holders beforehand to their big share-holders and other influential share-holders for the sake of smooth proceeding of the meeting and secure their preliminary agreements thereon, it does not imply any peculiar meanings for "Zaibatsu" to follow the practice.

As for Sumitomo, the appointment of clerical-staff, and internal appointment and transfer within the company (excluding the transfer from one company to the other) of Section-Chieives were the matters required to be previously conferred upon with the Honsha, and, by so doing, the Sumitomo Honsha laid hold of the personnel conditions at large throughout Sumitomo interests, provided for the future selection and appointment of the officers to be appointed and provided for the activities to be exercised as an intermediary for alternating personnels among the affiliated companies. Consequently, although their appointments were beforehand referred to the Honsha, as mentioned above, the non-titled-officership does not signify at all the meaning of representativeness for the interest of Sumitomo.

3. The personnel controlling of Sumitomo in this manner was forced to weaken down as the State mechanisms gradually more strengthened the War-time regime and the Government control has gradually been more pronounced in taking its place, but finally when the Munitions Company Law was enacted on 31st October, 1943, and the "Responsible-leadership-for-production" system was enforced, the personnel controlling by "Zaibatsu" survived but in name. In other words, as it is apparent in Para. 3 of Art. 4 of the Law, the Responsible-leadership-for-production system called for all the responsible leaders for production should hold themselves directly responsible to the Government; furthermore, the Government might directly appoint or discharge



them as the case might find it imperative. Inasmuch as a party in such a standing as any "Zaibatsu" Honsha was no longer in a position to bear any responsibility at all to the Government, it became actually impossible for the Honsha who had no responsibility to give any directions to the Responsible-leaders-for-production on any movements of the latter to go into any activity totally on their own responsibility: it arrived at such a state that it was simply mere advices that Honsha could pass, thus, the personnel controlling by the Sumitomo Honsha was depowerized totally, and requesting the formalities called for in accordance with the provisions of the "Internal By-laws" turned out to enforce upon taking superfluous formalities with the result that all these formalities were nearly in all cases taken place of by mere post-reporting. Consequently, the true circumstances stood that the appointment of officers was decided by the intention of the Responsible-leader-for-production (i.e., the President), and only in cases where new companies were established and their top-responsible-leaders were to be appointed alone, could Sumitomo Honsha take the positive standing.

As it was simply meaningless and rather harmful to carry on for a long time such a formal controlling system under the phases of war which grew more strained day after day, the Sumitomo Honsha decided finally on the 15th September, 1944, to discontinue all the control over the business under its affiliation and announced publicly at large to this effect (please refer to the Newspaper article attached hereto), thus, since this date, the control by Sumitomo Honsha has been discontinued, the provisions of all articles provided in the "Internal By-laws" have ceased its effect, and it became thereby all the companies should be operated under the responsibility of the top-responsible-persons.

9. However, as the war drew near the termination and the material as well as labor became rigidly scarce, and, to take the matter worse, the severer air raids increased the difficulty to keep on production, the necessity has increased all the more for the companies under affiliation to cooperate and help each other. Then, simultaneously as the Honsha suspended the function of controlling as "Honsha" it organized a medium for mutual cooperation called "Sumitomo War-time Intra-liaison Committee," not as an organ between the controlling and the controlled but on the equal footing as the Honsha stand on the even level of the companies formerly under its affiliation, whereunder to gather together in order to confer



and cooperate upon matters of importance.

Under this organ, conferences were had, for example, on the mutual accommodation of material and labor among each other, the mutual relief in case of any fire caused by war, and dispositions in common to cope with the emergency cases that can possibly arise.

10. It is remarked in general that the personnel control in Sumitomo has been carried out very strictly, and it can well be said that it has been. However, due to the fact that almost all of its enterprises were of munitions industry, it has been intentionally steered, since the War broke out, to the direction of placing the top-responsible persons in entire confidence and entrust them with the full responsibility. Consequently, it went shifted to a tendency that only the appointment of the top-responsible persons was subjected to the best efforts of the Honsha to appoint after strict selection and once when the top-responsible-persons (i.e., Presidents) were appointed, entire control was left to them irrelevant of the fact that all the former "Internal By-laws" remained standing as they were.

11. Under such a state of affairs, we faced the termination of the War, but inasmuch as all the aforementioned arrangements were taken in compliance with the necessary phases of War and it is quite natural to bring them once back to normalcy upon termination of the War, the appointed officers were ordered that the War-time Intra-liaison Committee should then be abolished and that the Sumitomo Honsha should revive the former functions as "Honsha". Hence, the "Internal By-laws" concerning the officers has since then revived and it has become imperative for the appointed officers to consult with the Sumitomo Honsha upon matters in accordance with the provisions of the articles in the "Internal By-laws." However, each affiliated company could not come back to such a state as was formerly, because of chaos observed in general in the community caused by the defeat in the War and of the atmosphere they could very soon feel about the dissolution of "Zaibatsu"; in fact, it was the truth that each company should continue the state of affairs as had been ever since the function of the Honsha was discontinued in September, 1944, and simply remained onlookers of the results of the defeat in the War. In the meantime, on the 22nd September, 1944 the policy of the Allied Force on the dissolution of "Zaibatsu" gradually came to light and Sumitomo Honsha, without losing time, decided officially to be dissolved. As the result of this, Honsha did not take any step to exercise,



control against the state of affairs as mentioned above, but simply devoted themselves to device timely measures for the dissolution, and convening the appointed officers of all the companies under affiliation up at Honsha on 24th October, notified them in private to the effect that the Sumitomo Honsha should dissolve. Following this, upon issuance of the official directive by SCAP on the dissolution of "Zaibatsu," the Sumitomo Honsha declared the fact of its dissolution to the community on the very following day, i.e., 8th November, 1945 (please refer to the newspaper article attached hereto). Consequently, as far as the internal affairs of Sumitomo are concerned, Sumitomo "Zaibatsu" perished as of 24th October, 1945, and it was declared that all the subsidiary companies and quasi-affiliated companies were to become completely autonomous and independent companies. It was the fact that although the stocks of the companies under the Honsha's affiliation were still in possession of the Honsha since this date up to the 16th October, 1946, namely, the date on which the stocks in their possession were handed over to the Holding Company Liquidation Commission, the "Zaibatsu" had already been dissolved in fact, and Honsha had rendered totally unconditional blank powers of attorney to the general meetings of share-holders of the companies formerly under its affiliation and did not intervene in their affairs at all.

12. To sum up all the above, it means as follows:

- (1) In Sumitomo "Zaibatsu," the Sumitomo Honsha did not have any contract or arrangement between it and the companies under affiliation regarding the selection and appointment of their officers.
- (2) The controlling on the companies under affiliation was exercised by means of granting the "Internal By-laws" as the guiding standards of activities to its representatives of the interest who were chosen and appointed based on the shareholder's right of Sumitomo Honsha, and the Sumitomo Honsha thereby brought into realization its will.
- (3) There are two kinds of "Internal By-laws," i.e., "The Internal By-law regarding the officers of the subsidiary companies" and "The Internal By-law regarding the officers of the quasi-affiliated companies," and any one who was



supplied with a copy of these "Internal By-laws" is an "appointee" of Sumitomo.

(4) Those who received the "Internal By-laws" as "appointees" of the Sumitomo Honsha were:

- (a) As far as the subsidiary companies were concerned, total officers up to May, 1940.
- (b) As far as the quasi-affiliated companies and the other companies are concerned, the total officers whom the Sumitomo Honsha despatched.
- (c) Since May, 1940, only the main officers (Presidents, Vice-presidents, Managing-directors, Standing-directors, and Standing-auditors) were made "appointees."

(5) Following the strengthening of the war-time regime in the country, the personnel controlling by the Sumitomo Honsha gradually weakened down, and the consultation on all the matters provided in the "Internal By-laws" has not actually been carried out any longer, and even in cases where it has been carried out, it has become merely formal.

In particular, the control was in such a status that it could be called anything but control ever since the enforcement of "Munitions Company Law" on 31st October, 1943.

(6) Then, the control of Sumitomo Honsha was temporarily suspended in September, 1944; subsequently, the control by the Honsha put a period more distinctly and even the appointment of officers did not require the approval of the Honsha any longer.

(7) On 15th August, 1945, the Sumitomo Honsha ordered the revival of functions as "Honsha," but amid the chaos since the termination of the War, the control did not revive at all.

(8) On 24th October, 1945, the Sumitomo Honsha convened the appointed officers of the companies under affiliation and notified them in private of the dissolution of the Sumitomo "Zaibatsu" and thenceforth the control by the Honsha was completely discontinued.

(9) On 8th November, 1945, the above stated fact was announced publicly.

(10) The circumstances being as mentioned above, the officers who were appointed to the officers at the beginning of the year 1944 are substantially



irrelevant of the approval of the Honsha, but those in particular who were officers appointed since the discontinuation of the functions of the Honsha on the 15th September, 1944, were entirely irrelevant of the approval of the Honsha.

Between 15th August and 24th October, 1945, functions as Honsha would in appearance seem to have existed temporarily, but, in fact, only the same state of affairs as up to the termination of the war continued to reason only to prove that it was made clearer on 24th October.

(11) Since 24th October, 1945 onward, it can be declared that only officers who were completely irrelevant of the control by "Zaibatsu" in whatever meaning were appointed.

(N.B.) The above statement was made with main stress on the appointment of officers, and it was omitted to make a mention on the point to which extent the personnel control outside the matters appertaining to the officers has been exercised to what extent in comparison with what is provided under articles in the "Internal By-laws," inasmuch as we take it for granted it is not required on the present occasion.



(Attached Paper A)

The Internal By-law regarding the officers  
of Subsidiary companies and the other companies.

(Enacted on 19th May, 1921)

Sumitomo Partnership Co.

- Art.1 Those who shall be appointed to officers of the Subsidiary Companies or the other companies representing the interest of Sumitomo Partnership Co. shall be appointed by the President of the Company from among the Clerical-staff of the Company or those who are in special relations with the Company.
- Art.2 When those who are appointed to the officers of the Subsidiary Companies or the other companies under provisions of the preceding article shall lose their capacity as the Clerical-staff of the Company shall automatically lose their positions as such officers and shall immediately take the proceedings for retirement.
- Art.3 The salaries and the other allowances for those who are the employees of the Company and the officers of the Subsidiary Companies and the other companies shall be fixed separately.
- Art.4 It is imperative for those who are appointed to the officers of the Subsidiary Companies in accordance with the provisions of Art. 1 to receive the previous approval of the Company prior to the intra-company decision of such subsidiary companies regarding the following items:
1. The appointment, the discharge, the promotion and rewarding or penalizing of the Clerical-staff of the 4th grade or senior, and the internal appointment and transfer within the company of the Section Chiefs (in case of non-existence of the Section Chiefs, the Chiefs in charge of Sub-sections).
  2. The retiring allowances of the Clerical-staff (except the regular ones).
  3. The business trips abroad, the studying abroad or the trips made for the study of sciences and arts, of the Clerical-staff and the quasi-clerical-staff, except the trips to China made for the necessity for operation of business.
  4. The payment of the year-end bonuses, all kinds of contingent allowances and mollifying treatments to be granted, to the Clerical-staff and quasi-Clerical-staff, except the regular ones.
  5. All kinds of allowances and the affairs of relief for the laborers, except the regular ones.
  6. Entrusting persons any advisorship or commissionership regarding business routines or techniques.
  7. All kinds of rules and regulations, and various systems or establishments for the Clerical-staff down to workers.
  8. The articles of incorporation and the important legislature about the execution of business.
  9. The important contracts and all kinds of lawsuits.
  10. The important donations and receptions.
  11. The new establishment, reorganization, or abolishment of business; planning of enterprises and estimation of the budget and closing of accounts for each fiscal term.



12. The establishment or abolishment of classified accounts and classified accounts of the ledgers.
13. The choosing of the banks to deal with.
14. The agenda of the general meeting of the share-holders.
15. The other matters than those provided in the preceding articles but of importance.

When the Company is to grant approval on matters concerning any of the preceding articles, it is imperative to consult with those who have been appointed to the officers of the Subsidiary Companies being the Clerical-staff of the Company.

- Art.5** Those who have been appointed to the officers of the subsidiary companies under provisions of Art. 1 shall send in various reports on their be-related companies in accordance with the provisions by the company.
- Art.6** It is imperative for those who have been appointed to the officers of the other companies than the subsidiary companies under provisions of Art. 1 to receive previous approval of the Board of Directors of the Company in order to express their opinion on increase or decrease of capital, calling of unpaid capital stock, subscription of debentures, and other important matters in the business of their be-related companies.
- Art.7** It is imperative for those who have been appointed to the officers of the other companies than the subsidiary companies under provision of Art. 1 to make reports at times to the Board of Directors of the company on the matters discussed at the Board of Directors Meeting of their be-related companies and any other important items put on discussion.

Additional Notes:

In so far as the Sumitomo Bank is concerned, the items calling for the approval designated in Art. 4 of this "Internal By-law" shall be revised as follows:

1. The Item 1 shall read as "The appointment, the discharge, the promotion and rewarding or penalizing of the Clerical-staff of the 4th grade or senior, and the internal appointment and transfer within the company of the Section Chiefs of the Head Office and Managers or seniors."
2. The Item 6 shall read as "Entrusting persons any advisership or commissionership."
3. The item 9 shall read as "The important contracts and lawsuit (except those concerning daily dealings)."
4. The Item 11 shall read as "The new establishments and abolishment of business."
5. The Item 12 shall read as "The establishment or abolishment of classified accounts and classified accounts of the ledgers (except those of banking proper)."



(Attached Paper C)

The Internal By-law regarding the officers  
of Quasi-Affiliated Companies.

(Enacted in January, 1938)

Sumitomo Honsha, Ltd.

**Art.1** Those who shall be appointed to officers of the quasi-affiliated companies representing the interest of the Sumitomo Honsha, Ltd. shall be appointed by the Honsha from among the personnels of the Honsha and its subsidiaries.

**Art.2** Those who have been appointed to officers of the quasi-affiliated companies in accordance with the provisions of the preceding article are to engage in the business of such companies concerned in line with the policies indicated by the Honsha, and regarding the following matters in particular, it is imperative to receive the previous approval of the Honsha prior to the intra-company decision at such companies concerned being taken:

1. The modification of the articles of incorporation, the payment of capital unpaid, and the raising of debentures.
2. The new establishment, reorganization, or abolishment of business; planning of creating enterprises.
3. The estimation of the budget and closing of accounts for each fiscal year.
4. The investment in and the despatches of officers to the outsiders.
5. The appointment, the discharge, or the transfer and the decision on the retiring allowances, of the important personnels.
6. The business trips abroad and the studying abroad of the personnels, except the business trips to Manchuria or China.
7. The payment of bonuses, all kinds of contingent allowances and mollifying treatments to the personnels, except the regular or insignificant ones.
8. Legislating important rules and regulations, systems or the establishments for the personnels and workers.
9. All kinds of allowances and the affairs of relief for the laborers, except the regular or the insignificant ones.
10. The important legislature about the execution of business.
11. The important contracts and lawsuits.
12. The important donations and receptions.
13. The choosing of the banks to deal with.
14. The agenda of the general meeting of the share-holders.
15. The other matters than those provided in the preceding articles but of importance.

The matters provided in the preceding articles may be modified under directions of the Honsha Depending upon the business conditions of the companies concerned.



Art.3 Those who have been appointed to the officers of the quasi-affiliated companies under provisions of the Art. 1 shall send the reports to the Honsha about such matters as stipulated by the Honsha and other important matters of business of the companies concerned.

Art.4 The amounts of remunerations and other allowances to those who are appointed to the officers of the quasi-affiliated companies under provisions of Art. 1 shall be decided separately.

Art.5 When those who are appointed to the officers of the quasi-affiliated companies under provisions of Art. 1 shall lose their official positions as the officers of such quasi-affiliated companies due to the age-limit, discharge or any other reasons, they shall automatically lose their positions as the officers of all such quasi-affiliated companies as under provisions of the Art. 1 and shall immediately take the proceedings for retirement.



(Separate Sheet D)

Rel-No.106-2

Despatched: Date  
No.

Copied:

Checked:

Filed: February 29, 1944.  
Approved: April 27, 1944.

Drafted by: General Affairs Section  
(To be chopped by person drafted)

Sealed by:  
Representative  
Director

Sealed by:  
Standing  
Director  
Kitazawa,  
General Affairs  
Department Chief

Sealed by:  
General Affairs  
Section Chief  
  
Planning  
Section Chief

Sealed by:  
Man in charge  
of Correspond-  
ence and docu-  
ments

Standing  
Director  
Kawai,  
Financial  
Dept. Chief

Business  
Section Chief

Personnel  
Section Chief

Standing  
Director  
Tanaka,  
Personnel  
Dept. Chief

Welfare Affairs  
Section Chief

Labor Administration  
Section Chief

Re: Revision on the Internal By-law regarding the officers of the  
Subsidiary Companies.

May we be granted with your approval that the "By-law regarding the officers of the Subsidiary Companies and the other companies" in force at present be revised as mentioned herounder under the name of "the Internal By-law regarding the officers of the subsidiary Companies" except the provisions relative to the quasi-affiliated companies.

P.S. The above-referred "Internal By-law" shall be granted to those who are appointed to the officers on standing (or constant) duty of the Subsidiary Companies (i.e., Presidents, Managing-directors and Standing-directors), and on each occasion of any such appointment, an application for its grant shall be filed for your approval. Furthermore, regarding its grant to those who are holding such posts, a separate application for your approval shall be filed.



"THE ASAHI SHIMBUN" dated 3rd October, 1944.

The War-time Intra-liaison Committee  
to be formed of all Sumitomo Concerns

Honsha activities suspended

The Sumitomo Honsha has now organized "The Sumitomo War-time Intra-liaison Committee" composed of the Sumitomo Honsha, subsidiary companies (16) and quasi-affiliated companies (78), as an emergency measure during the war-time, in order to concentrate the total personnel and materialistic power into reinforcement of the fighting power. The Committee will have the total number of the affiliated enterprises of Sumitomo as direct composing units and the Representative-director Furuta of the Sumitomo Honsha will preside over it as the Chairman, but in order to facilitate the operation of business, a few number of committee members representing respective enterprising sections will form up the Committee and this, coupled with the Bureau of Administrative affairs, aims at the simplest but most powerful organization.

The target of the Committee is to expect speedy solution among the composing committee members on various important problems relative to the various enterprising companies under its control and it expects to hold a meeting every week. As the result of this, the Sumitomo Honsha remains to be only a holding-company, and will become a character, so to speak, of a "Honsha" (in the case of Yasuda). It will suspend temporarily during the war-time the activities as Honsha as has been done, but this manner of movement is noteworthy as a means of uniting together the total strength of the Zaibatsu under the War-time conditions. The formation of the committee is as follows:

Chairman: Shunnosuke Furuta, Representative Director

Committee members: In charge of the 1st group (The Honsha, Ware-house, Life Insurance, Nippon Sheet Glass, etc.) Keijiro Kitazawa (Standing-director of the Sumitomo Honsha); in charge of the 2nd group (Mining, Machinery) Kiichi Mimura (President of Sumitomo Mining Co.); in charge of the 3rd group (Metal Industries, Manchuria Metal Industries, Sumitomo Synthetic Resin) Hiromu Kasuga (President of Sumitomo Metal Industries Co.); in charge of the 4th group (Chemicals, Aluminium Reduction, Sumitomo Cooperative Electric Power) Teikichi Yoshida (President of Sumitomo Chemical Co.); in charge of the 5th group (Communication Industry) Takeshi Kajii (President of Sumitomo Communication Industry Co.); in charge of the 6th group (Electric Industries) Yoshio Tanaka (Director of the Sumitomo Honsha); in charge of the 7th group (Bank and Trust Co.) Hayashi Okunashi (President of Sumitomo Bank); in charge of disposition of specially ordered matters Kenzo Oshima (Auditor of the Sumitomo Honsha); additional post of Director of the Bureau of Administrative Affairs Shozaburo Kawai (Director of the Sumitomo Honsha).

The formation of the Bureau of Administrative Affairs is consisted of four Sections; Planning, Personnel, Labor and General Affairs; and besides, it has instituted Chancellors and Investigators as the Liaison-staff between the Bureau of Administrative Affairs and the subsidiary companies. It also provided the Specialist Committees on each individual lines such as "Anti-air-raid Committee," "Financial Affairs Committee," etc. Furthermore, Mr. Takeshi Kajii took up the directorship of the Honsha on the 15th.



Newspaper Article  
on The Osaka Mainichi  
dated 8 November, 1945.

All affiliated companies to be independent  
is Sumitomo's policy of dissolution

In accordance with the policy of the SCAP, the Sumitomo "Zaibatsu" decided to dissolve on its own accord and on the 7th, the Representative Director Furuta announced as mentioned hereunder. By this, a period was put to the existence of Sumitomo Zaibatsu that has a traditional history of 250 years.

1. The Sumitomo Honsha, Ltd. will be dissolved and the controlling organ on all the enterprises under its affiliation be abolished.
1. It is anticipated that the mining interests (gold mine) and agriculture and forestry interests, the actually working enterprises in possession of the Sumitomo Honsha, shall be transferred to the Sumitomo Mining Co., Ltd. upon receipt of the permission from the authorities.
1. The shares of the various affiliated companies in possession of the Sumitomo Honsha will be handed over the organization designated by the Government, and shall be gradually offered to the public sales.
1. Following the dissolution of the Sumitomo Honsha, the President Sumitomo Kichizaemon, Representative Director Furuta Shunnosuke and all Directors and Auditors under them will automatically be retired; moreover, both Messrs. Sumitomo and Furuta will resign from the directorship of all the Sumitomo affiliates (already in action).
1. All the officers of the Sumitomo Honsha who are the directors or auditors of the Sumitomo affiliates will resign from the officership (already in action).
1. Each of the Sumitomo affiliates will stand on its own and operate the business as independent company.
1. Of the Sumitomo affiliates, those carrying the name "Sumitomo" will avoid using this name and change their names.



27th January, 1948

(Sealed by) Hidejaro Sugano,  
Executive Director,  
Sumitomo Honsha, Ltd.

CERTIFICATE

It is hereby certified that the Sumitomo Honsha discontinued its functions of control on all the companies under its affiliation since 24th October, 1945 downward, as mentioned hereunder:

Note:

1. On 19th October, 1945, the Sumitomo Honsha held a Directors' Meeting (Directors present were: Shunnosuke Furuta, Keijiro Kitazawa, Yoshio Tanaka, Shozaburo Kawai, Hiromu Kasuga, Kiichi Mimura, Hayashi Okahashi and Takeshi Kajii), when they passed a vote for the following resolution as per the copy of certificate (the original of which is to be presented by the Sumitomo Honsha) signed by Shunnosuke Furuta, the Representative of all the Directors present, as per the attached sheet.

Matters of Resolution:

In view of the present circumstances observed in general since the termination of the War, the Sumitomo Honsha will be dissolved and its controlling organ on the various affiliated enterprises by discontinued. In order to cope with the present circumstances, it has been decided to carry out the undermentioned measures:

- (1) The enterprises in activity under direct control of the Sumitomo Honsha will be disposed of, by transferring the mining interests and the agriculture and forestry interests, to the Sumitomo Mining Co.
- (2) The shares of the various affiliated companies under Sumitomo's control will be handed over the office designated by the Government.
- (3) Following the dissolution of the Sumitomo Honsha, the President and all officers under him will automatically be retired; moreover, the Head of the Family will resign from directorship of all Sumitomo affiliates, likewise will do Representative Director Furuta from the Chairmanship of the Boards of Directors thereof.
- (4) In keeping with the above, all Sumitomo affiliates will continue operation of their enterprises, each on its own as an independent company.
- (5) Of the Sumitomo affiliates, those carrying the name "Sumitomo" will avoid using this name and gradually change their names.
- (6) The above resolution shall be announced in private at the Chief-men-in-charge Conference expected to be hold on 24th October to come.

2. Since then, a Meeting of the Chief-men-in-charge of the subsidiary companies and the affiliated companies of special relations was held on 24th October, 1945, as per the notice "Re: Meeting of the Chief-men-in-charge" dated 10th October, 1945, whereupon the matters of resolution described in 1. were notified in private by the Representative Director Furuta.

3. Following this, upon publication by SCAP of the policy on the dissolution of "Zaibatsu" on 6th November, notice was given to respective subsidiary companies and affiliated companies of special relations as per the matters mentioned in 1. under the title of "Re: Dissolution of the Sumitomo Honsha" dated 7th, the following day, as per the copy of certificate signed by Keijiro Kitazawa (the original of which is to be presented by the Honsha) and on the 8th, the very following day, announcement was made publicly on the newspaper.



CERTIFICATE

It is hereby certified that it is the true fact that on 19th October, 1945, the Board of Directors' Meeting of the Sumitomo Honsha was held whereupon the resolution as mentioned hereunder was passed and that this resolution was notified in private to the Chief-men-in-charge on the occasion of the Meeting of these people held on 24th October:

NOTE

In view of the present circumstances observed in general since the termination of the War, the Sumitomo Honsha will be dissolved and its controlling organ on the various affiliated enterprises under Sumitomo's control be discontinued. In order to cope with the present circumstances, it has been decided to carry out the under-mentioned measures:

- (1) The enterprises in activity under direct control of the Sumitomo Honsha will be disposed of, by transferring the mining interests and the agriculture and forestry interests, to the Sumitomo Mining Co.
- (2) The shares of the various affiliated companies under Sumitomo's control will be handed over the office designated by the Government.
- (3) Following the dissolution of the Sumitomo Honsha, the President and all officers under him will automatically be retired; moreover, the Head of the Family will resign from directorship of all Sumitomo affiliates, likewise will do Representative Director Furuta from the Chairmanship of the Boards of Directors thereof.
- (4) In keeping with the above, all Sumitomo affiliates will continue operation of their enterprises, each on its own as an independent company.
- (5) Of the Sumitomo affiliates, those carrying the name "Sumitomo" will avoid using this name and gradually change their names.
- (6) The above resolution shall be announced in private at the Chief-men-in-charge Conference expected to be held on 24th October to come.

27th January, 1948.

Directors present: Shunnosuke Furuta  
Keijiro Kitazawa  
Yoshio Tanaka  
Shozaburo Iwai  
Hiromu Kasuga  
Kiichi Mimura  
Hayashi Okahashi  
Takeshi Kajii

The Representative for the above:

(Sealed by) Shunnosuke Furuta.



No. Bun-120  
19th October, 1945.

(Sealed by) Keijiro, Kitazawa,  
Chief of the General Affairs Dept.,  
Sumitomo Honsha, Ltd.

Re: Meeting of the Chief-men-in-charge

I am instructed to inform you that it is decided the Meeting of the ~~Chief-man-in-charge~~ of the subsidiary companies and offices of enterprises under direct control of the Honsha, under the auspices of our Representative Director, will be held as described hereunder and that you are urged to be present at this Meeting.

Note:

1. Date: 24th October (Wednesday) at 10 a.m.
  2. Place: No. 2 Conference Room, Sumitomo Bldg.
-



No. Bun-120  
19th October, 1945.

(Sealed by) Keijiro, Kitazawa,  
Chief of the General Affairs Dept.,  
Sumitomo Honsha, Ltd.

Re: Meeting of the Chief-men-in-charge

I am instructed to inform you that it is decided the Meeting of the ~~Chief-man-in-charge~~ of the subsidiary companies and offices of enterprises under direct control of the Honsha, under the auspices of our Representative Director, will be held as described hereunder and that you are urged to be present at this Meeting.

Note:

1. Date: 24th October (Wednesday) at 10 a.m.
2. Place: No. 2 Conference Room, Sumitomo Bldg.

----



No. Bun-124  
7th November, 1945.

(Sealed by) Keijiro Kitazawa,  
Chief of the General Affairs  
Department, Sumitomo Honsha, Ltd..

Re: Dissolution of Sumitomo Honsha

In view of the circumstances observed in general since the termination of the War, the Sumitomo Honsha will be dissolved and its controlling organ on the various affiliated enterprises be discontinued. In order to cope with the present circumstances, it has been decided to carry out the under mentioned measures, and I am instructed to notify you to the effect that you will kindly arrange to get all personnel under you thoroughly understand and carry out the objective of this policy, which, I trust, will meet your attention.

Undermentioned:

1. The enterprises in activity under direct control of the Sumitomo Honsha will be disposed of, by transferring the mining interests and the agriculture and forestry interests, to the Sumitomo Mining Co.
2. The shares of the various affiliated companies under Sumitomo's control will be handed over the office designated by the Government.
3. Following the dissolution of the Sumitomo Honsha, the President and all officers under him will automatically be retired, moreover, the Head of the Family will resign from directorship of all Sumitomo affiliates, likewise will do Representative Director Furuta from the Chairmanship of the Boards of Directors thereof.
4. In keeping with the above, all Sumitomo affiliates will continue operation of their enterprises, each on its own as an independent company.
5. Of the Sumitomo affiliates, those carrying the name "Sumitomo" will avoid using this name and gradually change their names.



APPROVED 3/1948

承認 昭和23年5月9日

井 塚

Misao Ueda



NAME YOSHIBUMI TAKETSURU

303

Name of Company HIGASHI HORONAI TANKO K.K.

個人調査書

(記載上の一般的注意)

- 一、本調査書は、三通提出しなければならない。
- 二、調査書は、日本文及び英文で記入する。その場合、英文記載事項は對應頁の日本語に照應するものとする。日英  
兩文間に相違がある場合は、英文によるものとする。
- 三、記載事項は、楷書(英文の場合は大文字活字體)で明瞭に記入しなければならない。
- 四、各記載事項は、空白のままにしないよう正確に且つ良心的に記入しなければならない。
- 五、各記載事項中該當事項のない場合は「該當しない」又は「該當事項なし」等の文句を用いて記入しなければならない。
- 六、記載すべき空欄に充分の餘白がない場合は、補助紙を用い、「補助紙に続く」等の字句を記入して、いずれの記  
載欄の補助紙として用いたかを明かにしなければならない。
- 七、この調査書の重要な事項について虚偽の記載をし又は事實をかくした記載をした者は、財閥同族支配力排除法第  
三十一條の規定により處罰せられる。

東横同産株式会社 第 2 號

氏名

竹 鶴 可 文



個人調査書

一、姓名(振假名をつけること)

タケノコ  
竹 鶴 可 文

二、從來使用し又は一般に通用している他の名稱(通稱、筆名等)

該當事項ナシ

三、生年月日(年齢數え年)

明治二十四年十二月三十日

四、出生地(都道府縣)

廣島縣賀茂郡竹原町一三四二番地

五、現住所(略記しないこと)及び電話番号

札幌市豊平七條三丁目

六、本籍地(略記しないこと)

廣島縣賀茂郡竹原町一三四二番地

APPROVED  
1915



昭和十四年十二月三十日



Questionnaire

1. Name (In full).

YOSHISUMI TAKESURU

2. Other names which you have used or by which you have been known.  
(alias or penname).

NONE

3. Date of birth (age).

DECEMBER 30, 1890 (56)

4. Place of birth (prefecture).

1342 TAKEHARA-CHO, KAMO-GUN, HIROSHIMA-KEN

5. Present address (in full) and telephone number.

7 Jo 3 CHOME, TOYOHIRA, SAPPORO-SHI

6. Permanent address (in full).

1342 TAKEHARA-CHO, KAMO-GUN, HIROSHIMA-KEN



七、現に保有し又は就こうとする財閥、制限、從屬又は關係會社における役員としての地位  
(一) 會社の名稱及び財閥系統(昭和二十年九月二日以降稱號變更があつた場合は舊稱號を含む)

東映内炭礦株式會社(三井系)

(二) 財閥會社、制限會社、從屬會社又は關係會社の區分(財閥會社の場合には更に直系、準直系又は傍系の區分)

從屬會社

(三) 地位

取締役

(四) 就任の豫定日

現任

八、前項の他本人の保有するすべての身分及び職業

日本石炭株式會社理事  
北海道石炭株式會社理事

九、財閥としての指定者との親族關係  
(一) 關係の有無及び有りとすればその詳細(財閥同籍者との親族關係を含む)

該當事項ナシ

(二) 指定者か指定された日において指定者と同じ戸籍内にあつたことの有無

該當事項ナシ



7. Position of official in company which you hold or for which you are under consideration.

a. Name of company and the lineage of Zaibatsu where the company belongs. (In case name of the company has been changed after 2 September 1945 the former name will also be given.)

HIGASHI HORONAI TANKO KABUSHIKI KAISHA  
(HIGASHI HORONAI COAL MINE CO., LTD.)  
*(Mitsui line)*

b. Classification of Zaibatsu, restricted, subsidiary or connected company (in the case of Zaibatsu company, the classification of the direct affiliate, indirect affiliate or associate company will also be given.)

SUBSIDIARY COMPANY OF MITSUI

c. Position.

DIRECTOR

d. Scheduled date of assumption of the position.

POSITION ALREADY ASSUMED

8. All other positions and professions which you hold now.

TRUSTEE OF NIPPON SEKITAN KOGYO KAI  
CHAIRMAN OF HOKKAIDO SEKITAN KOGYO KAI

9. Family relationship with the persons designated as Zaibatsu.

a. Existence or not of the relationship and its details, if any. (including relationship with the Zaibatsu family members.)

NONE

b. Whether or not you were on the same family register with the designated persons on the day of their designation.

NONE











10. Chronological record of profession and employment.

Note 1: "Organization or company" mentioned in this column include any organization or company other than Zaibatsu company. With reference to organizations, relationship with economic organizations such as union, association or conference etc. will particularly be given in detail.

Note 2: In case you did not, in fact, handle duties for which you have been authorized, duties and powers which you actually handled and name of the person who dealt with duties originally authorized for you will be given.

Note 3: With reference to the Zaibatsu company where you served as official or as a person accorded with the status of official, the following entries are additionally required.

- a. Name and stock-holding percentage of stock-holders owning 10 per cent or more of the total stock of the company at the time of your assumption of office and retirement.
- b. Name, position and dates of appointment and retirement of other officials of the company during the period when you served.

Dates of employment and retirement.	Name of company or organization where you served.	Status of the position (including position as ordinary personnel.)	Duties and powers (in detail).	Substance of business of organization or company where you served and its location.



七註二上

就任當時

退職當時

三	三	三	三
井	井	井	井
鎮	本	鎮	本
山	町	山	町
10%	16%	10%	16%



氏名	役職名	就任年月日	退任年月日
島田勝之助	取締役會長	昭和十四年十二月十四日	昭和二十二年二月一日
加藤德行	常務取締役	昭和十一年十二月二十四日	昭和二十一年十一月二十九日
古谷金一郎	"	昭和十五年十一月一日	昭和二十一年十一月二十八日
中根正良	"	昭和十七年一月二十三日	昭和二十一年十二月二十日
杉山明久	常務取締役	昭和二十一年五月二十九日	昭和二十二年五月二十九日
古賀健太	取締役	昭和十八年十一月二十六日	昭和二十一年十一月二十八日
日比谷平左衛門	取締役	昭和十二年十二月二十四日	昭和二十一年十一月二十八日
長尾三志	"	昭和十三年六月二十四日	昭和二十一年十一月二十八日
川島三郎	"	昭和十四年六月二十四日	昭和二十一年十一月二十八日
栗原寛	"	昭和二十年十一月二十九日	昭和二十一年十二月三十日
關川潔	"	昭和二十年六月十五日	昭和二十一年十二月三十日
富本惣吉	"	昭和二十年十一月二十九日	昭和二十二年二月一日
前田一吉	監査役	昭和二十年十一月二十九日	昭和二十二年二月一日
松岡潤吉	"	昭和二十年十二月二十四日	昭和二十二年二月一日
渡邊恒次郎	"	昭和十五年十二月二十七日	昭和二十二年十一月二十八日
金田才平	"	昭和十九年十一月二十八日	現任



NOTE 3 (a)

At the time of assumption of office

MITSUI HONSHA	16%
MITSUI KOZAN KABUSHIKI KAISHA (MITSUI MINING CO., LTD.)	10%

At the time of retirement of office

MITSUI HONSHA	16%
MITSUI MINING CO., LTD.	10%



Name	Position	Date of appointment	Date of retirement
KATSUNOSUKE SHIMADA	DIRECTOR & CHAIRMAN OF BOARD OF DIRECTORS	DEC 14, 1939	FEB 1, 1947
TOKUYUKI KATO	MANAGING DIRECTOR	DEC 24, 1936	NOV 29, 1945
KINICHIRO FURUYA	"	NOV 1, 1940	NOV 28, 1945
MASAYOSHI NAKANE	"	JAN 23, 1942	DEC 20, 1946
AKIHISA SUGIYAMA	MANAGING DIRECTOR & DIRECTOR	MAY 29, 1946 NOV 29, 1945	FEB 1, 1947 MAY 29, 1946
KENTA KOGA	DIRECTOR	NOV 26, 1943	NOV 28, 1946
HEIZAEMON HIBIYA	"	DEC 24, 1939	NOV 28, 1945
TSUTOMU NAGAYA	"	JUNE 24, 1938	"
SABURO KAWASHIMA	"	JUNE 24, 1939	NOV 10, 1946
HIROSHI KURIHARA	"	NOV 29, 1945	DEC 30, 1946
KIYOSHI SEKIGAWA	"	JUNE 15, 1945	DEC 30, 1946
SOKICHI TOMIMOTO	"	NOV 29, 1945	FEB 1, 1947
HAJIME MAEDA	"	"	"
JUNKICHI MATSUOKA	AUDITOR	DEC 24, 1937	NOV 28, 1946
TSUNEJIRO WATANABE	"	DEC 27, 1940	OCT 27, 1947
SAIHEI KANADA	"	NOV 28, 1944	IN OFFICE



Dates of employment & retirement	Name of Co. or organization where you served	Status of the position	Duties and powers	Substance of business of organization etc.
DEC 26 1917	HOKKAIDO COLLIERY & STEAMSHIP CO., LTD.	ENTERED THE SAME. ASSISTANT OF CHIEF TECH- NICIAN		COAL MINING & SALE OF COAL LOCATION: 1 MUROMACHI 2 CHOME, NIHOMBASHI CHUO-KU TOKYO-TO (MITSUI SANGO KAN
JULY 24 1918	"	YUBARI MINE		
SEPT 6 1920	"	SORACHI MINE		
MARCH 5 1923	"	MANJI MINE		
JULY 20 1926	"	CHIEF MACHINE MANAGER, DITTO		
JAN 1 1927	"	DITTO, YUBARI MINE		
NOV 1 1930	"	CONCURRENTLY HEAD OF SEISAKUJO MINING AFFAIRS DEPT		
JULY 27 1931	"	CONCURRENTLY HEAD OF COAL DRESSING YUBARI MINE		
JUNE 1 1932	"	CONCURRENTLY HEAD OF MACHINERY & ANALYSIS MINING AFFAIRS DEPT		
MAY 15 1933	"	INSPECTOR MINING AFFAIRS DEPT		
APRIL 1 1935	"	SUB CHIEF, DITTO		
JULY 10 1937	"	CHIEF OF MACHINERY DEPT		
MAY 4 1938	"	CONCURRENTLY CHIEF OF MINING INSPECTION DEPT		
JUNE 3 1938	"	RELIEVED OF SAME		
SEPT 16 1939	"	CHIEF TECHNICIAN		
JULY 16 1940	"	TECHNICAL SUPERINTENDANT & CONCURRENTLY CHIEF OF TESHIO COLLIERY		



APRIL 17 1941	"	CHIEF OF HORONAI COLLIERY		
NOV 9 1943	"	CHIEF OF YUBARI COLLIERY		
NOV 26 1943	"	DIRECTOR		
DEC 26 1943	"	DIRECTOR & ACTING- CHIEF OF YUBARI COLLIERY		
DEC 15 1945	"	DITTO OF PRODUC- TION ENHANCING CORPS		
NOV 1945	"	MANAGING DIRECTOR		
NOV 28 1946	"	RETIRED FROM OFFICE		
MAY 1940	YUBARI SEISAKUJO KABUSHIKI KAISHA	DIRECTOR		
NOV 1941	"	RETIRED FROM OFFICE		
MAY 1943	HIGASHI HORONAI TANKO KABUSHIKI KAISHA	DIRECTOR IN OFFICE		
MAY 1944	YUBARI TETSUDO KABUSHIKI KAISHA	DIRECTOR		
OCT 1947	"	RETIRED FROM OFFICE		
MAY 1945 DEC 1946	KAYANUMA TANKO KOGYO KABUSHIKI KAISHA	DIRECTOR (NON REGULAR ATTENDANCE)		COAL MINING TOMARI MURA KOU GUN HOKKAIDO
MAY 1947	NIPPON SEKITAN KOGYOKAI	INSPECTOR (NON REGULAR ATTENDANCE)		FOR PROMOTION OF COAL INDUSTRY KAYABA CHO NIHOMBASHI CHUO KU TOKYO-TO
MAY 1947	HOKKAIDO SEKITAN KOGYOKAI	CHAIRMAN OF THE SAME	CONTROLLING MANAGEMENT	FOR PROMOTION OF COAL INDUSTRY IN HOKKAIDO SAPPORO SHI HOKKAIDO



11. At the time of your assumption of office as official, whether or not the arrangement that the previous approval be obtained from the Zaibatsu or the direct Zaibatsu affiliate regarding assumption of the position of official existed between the Zaibatsu company where you served and the Zaibatsu or the direct Zaibatsu affiliates.

a. Whether or not the arrangement existed in writing.

NONE

b. Details of circumstances under which you assumed the position of official; particularly whether or not the Zaibatsu or the direct Zaibatsu affiliate was concerned in approving your assumption of office.

DEC. 1917      ENTERED HOKKAIDO COLLIERY & STEAMSHIP  
COMPANY, LTD.

NOV. 1943      ELECTED DIRECTOR OF THE SAME, AT THE  
SHAREHOLDERS' GENERAL MEETING, OWING  
TO MY LONG SERVICE.

NOV. 1945      ELECTED MANAGING DIRECTOR OF THE SAME  
FOR THE SAME REASON  
AT THE TIME OF MY ASSUMPTION OF OFFICE  
I WAS NOT CONNECTED, EITHER FORMALLY  
OR SUBSTANTIALLY, WITH THE ZAIBATSU.



昭和二十三年一月三十一日

「この調査表の記載は眞實であり且つ完全であることを確言する、又私はこの調査表の重要な事項について虚偽又は事實をかくした記載があるときは財閥同族支配力排除法第三十一條の規定により處罰せられることを諒承してをる旨申し添える」

署名

竹 鷗 可 文





十一、本人の役員就任當時その勤務した財閥會社と財閥又は財閥直系會社との間に役員としての就任についての事前承認を必要とする旨の取極の有無  
(一) 明文の取極の有無

該當事項ナシ

(二) 本人の役員としての就任の事情の詳細、特にその就任につき財閥又は財閥直系會社が關與した事實の有無

私ハ大正六年十二月北海道炭礦汽船株式會社入社永年勤続セルヲ以テ昭和十八年十一月休主總會ニ於テ同社取締役ニ選任同二十年十一月同常務取締役ニ選任セラレタルニシテ役員就任ニ關シテハ財閥ニヨリ形式上ニモ事實上ニモ何等關與セラレタルコトナシ



Page 6

12. Date

JANUARY 31, 1948

13. I hereby certify that entries made in this questionnaire are true and complete. I further add that I understand that entries false or lacking full and complete disclosure on relevant or material matters in this questionnaire will subject me to penalty in accordance with the provisions of Article 31 of the Law for Termination of the Zaibatsu Family Control.

Signature

*Y. Take Tsuru*



APPROVED May 3/ 1948  
承認 昭和23年5月3日

Honorable Tetsu Katayama  
Prime Minister

*Misao Ueda*

Application for Acknowledgement of not being  
a Zaibatsu Official.

Present Address: 7 jo, 3 chome, Toyohira, Sapporo-shi

Present position: Director of Higashi Horonai Tanko  
Kabushiki Kaisha

Applicant: Yoshibumi Taketsuru

1. Summary of Application:

I hereby beg to apply for your acknowledgement of my not being a Zaibatsu official due to reasons described below, though I held the position of director of the Hokkaido Colliery & Steamship Co., Ltd., subsidiary company of the Zaibatsu company, designated in accordance with the provisions of the Law for Termination of the Zaibatsu Family Control before September 2, 1945.

2. Grounds for Application:

I. During the term I was in office, the Mitsui Honsha was simply one of the shareholders of the company, without any controlling power over the company.

II. a. At the time of the assumption of my present office, no previous arrangements were made with Mitsui Zaibatsu, nor had Mitsui Zaibatsu any formal or substantial concern regards the appointment, and therefore, it is obviously quite inappropriate that I be regarded as a Mitsui Zaibatsu official.



b. As has been stated in my personal investigation papers, I assumed office as director of Hokkaido Colliery & Steamship Co., Ltd., in 1943, was appointed managing director in November, 1945, and retired in 1946, thus holding the position of official for only three (3) years, during which period, I never once attended any of the shareholders' general meetings, and participated but little in the actual performance of the duties of an official. Moreover, as stated in the papers of my personal history, after entering the company in 1917 as a technician, I have been nothing more than an engineer in the production field, who, owing to long service, was promoted to the position of an official. Thus my duties, in name and in act, have been only those of one in charge of production affairs at the mines, and therefore, it is plainly unjust that I should be regarded as a Mitsui Zaibatsu official.

3. Attached Documents:  
Certificates.

I hereby submit to you this application, hoping for due acknowledgement of my NOT being a Zaibatsu official.

January 31, 1948

Applicant:

*Y. Taketsumu*



Honorable Tetsu Katayama

Prime Minister

Application for Acknowledgement of NOT being a  
Zaibatsu Official.

Present residence: 7 jo, 3 chome, Tojo-hira, Sapporo-shi.

Present position: Director of Higashi Onai Tanko  
Kabushiki Kaisha

Applicant: Yoshibumi Taketsuru

1. Summary of Application:

I assumed the position of director of the Hokkaido  
Tanke Kisen Kaisha, Ltd. (Hokkaido Colliery & Steamship  
Co., Ltd.) in November, 1943, which was designated as  
direct Zaibatsu affiliate in accordance with the provisions  
of the Law for Termination of the Zaibatsu Family Control.  
However, according to the following reasons I beg you to  
acknowledge that I am an official NOT connected with  
Zaibatsu.

2. Grounds for Application:

I. No matrimonial relationship exists between myself  
and any persons entered in the Zaibatsu Family  
register, neither am I parent, brother nor sister  
of any member of the Zaibatsu Family, nor married  
to any of such relatives.



II. At the time of assumption of my present office, no agreement that necessitated the previous approval of Mitsui Honsha had been in existence, nor had that company any formal or substantial concern regarding the assumption.

III. I did not actually possess as much authority or controlling power as the managing directors of indirect Zaibatsu affiliates or supreme representative officials of Zaibatsu subsidiaries.

IV. I have never concurrently held four (4) or more official positions of Zaibatsu companies.

3. Attached Documents:  
2 Certificates.

I hereby submit to you this application, hoping for due acknowledgement of my not being a Zaibatsu official.

January 31, 1948

Applicant:

*Y. Takatsuru*



CERTIFICATE

Name of Company: Hokkaido Colliery & Steamship Co., Ltd.  
Title: Ex-Director  
Name Yoshibumi Taketsuru

At the time of assumption of office of the person above mentioned, no written agreement that necessitated the previous approval of this company had been in existence, nor had the company any concern, either formally or substantially, concerning the election of this person as company's official.

We hereby certify the above statement to be true and correct.

January 31, 1948

mits  
MITSUI HONSHA COMPANY, LTD.

Jun Taguchi



CERTIFICATE

Name of Company: Hokkaido Colliery & Steamship Co., Ltd.  
Official Position: Ex-Director  
Name: Yoshibumi Taketsuru

No fact exists showing that the person above mentioned  
has concurrently held four (4) or more official positions of  
the Zaibatsu Company.

We certify the above statement to be true & correct.

January 31, 1948

MITSUI BOSHKA COMPANY, LTD.

Jun Taguchi

Liquidator



CERTIFICATE

Name of Company: Hokkaido Colliery & Steamship Co., Ltd.  
Official position: Ex-Director  
Name: Yoshibumi Taketsuru

No fact exists showing that the person above mentioned has actually held as much authority & controlling power as managing directors of quasi-direct Zaibatsu affiliates or supreme representative officials of the Zaibatsu associates.

We hereby certify the above statement to be true and correct.

January 31, 1948

HOKKAIDO COLLIERY & STEAMSHIP CO., LTD.

Yoshio Yoshida

Chairman of Board of Directors



Supplementary Document in Application

II. (b)

As stated in my personal history of profession in the attached sheet, immediately after my graduation from the Machinery course of the Kyushu Imperial University in 1917, I entered the Hokkaido Colliery & Steamship Co. Ltd. Since then, having been at the Yubari area as a machinery technician, I worked through my way with diligence and strenuousness. Until I left the same company approximately after thirty years, I continued to stay at mines taking in charge of production, but I never took part in any other business.

After having followed in actual affairs at mines as a mining technician I was promoted and appointed chief of the Horonai colliery in April, 1941, director and acting chief of the Yubari colliery in Nov. 1943, and managing director and acting chief of the same colliery in Nov. 1945.

However, my official capacity being limited due to instructions specially given by the then-chairman of Board of Directors that chiefs of collieries should attend to their duties at place of employment, it was not even in my power to supervise other collieries.

Substantially speaking, I had never been an official ; I had not attended shareholder's meeting except once when I



resigned my post; my attendance to high official's meeting of the company was also limited, my coming up to Tokyo being only once a year.

I have not acquainted with, or known to, or met with any member of the Mitsui Zaibatsu family. Accordingly, it was quite obvious that my long experience at mines was the only reason why I came to be appointed to the dictatorship of the company, & that there was no other reason why but to promote an employee who had served the company for a long time. Appointment of office, which happened rather unexpectedly to myself too, was decided high-handed.

Situation how I came to assume the official position being just stated above, and moreover, it being for a short time that I held the position, not provided substantially with official capacity or with power, I positively say that I am NOT a Zaibatsu affiliate official.

Inclosures:

1. Certificate by Mr. Katsunosuke Shimada, ex-chairman of Board of Directors, Hokkaido Colliery & Steamship Co. Ltd.
2. Certificate showing times of attendance to the general meeting of shareholders of the same company.



Certificate

Name: Yoshibumi Taketsuru

Name of Company: Hokkaido Colliery & Steamship Co. Ltd.

Official Title: Ex-director

This is to certify that the above mentioned person never took part in any general meeting of the shareholders of the company during his tenure of office, though once for all did he attend at the time of his retirement.

Issue Date: Jan. 31, 1948

Yoshio Yoshida,

Chairman of Board of Directors,

Hokkaido Colliery & Steamship Co. Ltd.



Certificate

Name: Yoshibumi Taketsuru

Name of company: Hokkaido Colliery & Steamship Co. Ltd.

Official title: Ex-director

At the assumption of official post, the person mentioned had no connections whatever with the Mitsui Honsha, nor was given any sort of instructions by the same Zaibatsu, while he was in office as chief of the Yubari colliery.

Jan. 30, 1948

Katsunosuke Shimada,  
Ex-chairman of Board of Directors,  
Hokkaido Colliery & Steamship Co. Ltd.



APPROVED 1948  
承認 昭和23年5月8日

信  
文

NAME UEDA, MASAICHI

No. 1405 Name of Company NIPPON ELECTRIC CO., LTD.

Misao Ueda



個人調査書

(記載上の一般的注意)

- 一、本調査書は、三通提出しなければならない。
- 二、調査書は、日本文及び英文で記入する。その場合、英文記載事項は對應頁の日本語に照應するものとする。日英兩文間に相違がある場合は、英文によるものとする。
- 三、記載事項は、楷書(英文の場合は大文字活字體)で明瞭に記入しなければならない。
- 四、各記載事項は、空白のまゝにしないよう正確に且つ良心的に記入しなければならない。
- 五、各記載事項中該當事項のない場合は「該當しない」又は「該當事項なし」等の文句を用いて記入しなければならない。
- 六、記載すべき空欄に充分の餘白がない場合は、補助紙を用い、「補助紙に続く」等の字句を記入して、いずれの記載欄の補助紙として用いたかを明かにしなければならない。
- 七、この調査書の重要な事項について虚偽の記載をし又は事實をかくした記載をした者は、財閥同族支配力排除法第三十一條の規定により處罰せられる。

日本電気株式会社 第 號

氏名

田尾本 政一



個人調査書

一、姓名（振假名をつけること）

田尾本 政一

二、從來使用し又は一般に通用している他の名稱（通稱、筆名等）

該當事項なし

三、生年月日（年齢數え年）

明治三十四年三月二十一日生（四十八才）

四、出生地（都道府縣）

兵庫縣神戸市

五、現住所（略記しないこと）及び電話番号

東京都港谷区羽澤町五三番地

六、本籍地（略記しないこと）

兵庫縣神戸市生田区下山手通

二百七番地



Questionnaire

1. Name (In full).

**Taomoto, Masaichi**

2. Other names which you have used or by which you have been known.  
(alias or penname).

**None**

3. Date of birth (age).

**March 21, 1901 (48 years old)**

4. Place of birth (prefecture).

**Kobe City, <sup>Hyogo</sup>~~Hyogo~~ Prefecture.**

5. Present address (in full) and telephone number.

**53, Hanesawa-machi, Shibuya-ku, Tokyo.**

6. Permanent address (in full).

**11-1, Shimo <sup>Yamate</sup>~~Yamate~~ Dori 2-chome, Ikuta-ku, Kobe City, Hyogo  
Pref.**



七、現に保有し又は就こうとする財閥、制限、從屬又は關係會社における役員としての地位

(一) 會社の名稱及び財閥系統(昭和二十年九月二日以降稱號變更があつた場合は舊稱號を含む)

日本電氣株式會社(旧称住友通信工業株式會社)日電興業株式會社

滿洲通信機株式會社

(二) 財閥會社、制限會社、從屬會社又は關係會社の區分(財閥會社の場合には更に直系、準直系又は傍系の區分)

日本電氣株式會社(住友財閥の直系會社)

日電興業株式會社(住友系、從屬會社)

滿洲通信機株式會社(住友系)

(三) 地位

日本電氣株式會社 取締役

滿洲通信機株式會社 監査役兼任

日電興業株式會社 監査役兼任

大和機噐株式會社 取締役兼任

現に保有する役員としての地位は左記の通りあり

住友系

河本

住友系

住友系

住友系

住友系

住友系

住友系

住友系

住友系

該當事項あり

八、前項の他本人の保有するすべての身分及び職業

日本電氣株式會社 經理部長

九、財閥としての指定者との親族關係

(一) 關係の有無及び有りとなればその詳細(財閥同籍者との親族關係を含む)

該當事項あり

(二) 指定者か指定された日において指定者と同一戸籍内にあつたことの有無

該當事項あり



7. Position of official in company which you hold or for which you are under consideration. **Position of official in company which I am under consideration: None**

a. Name of company and the lineage of Zaibatsu where the company belongs. (In case name of the company has been changed after 2 September 1945 the former name will also be given.)

Nippon Electric Co., Ltd. (Former Sumitomo Communication Industrial Manchurian Communication Works, Ltd. Co., Ltd.)

Nichiden Industrial (Mining) Co., Ltd.

Yamato Machine and Instrument Co., Ltd. (Former Kokubo Tools Co., Ltd.)

All above companies are lineage of Sumitomo.

b. Classification of Zaibatsu, restricted, subsidiary, or connected company (in the case of Zaibatsu company, the classification of the direct affiliate, indirect affiliate or associate company will also be given.)

Nippon Electric Co., Ltd. (Direct affiliate of Sumitomo Zaibatsu.)

Manchurian Communication Works, Ltd. (Associate Co. of Sumitomo Zaibatsu)

Nichiden Industrial (Mining) Co., Ltd. (Subsidiary of Sumitomo Lineage)

Yamato Machine and Instrument Co., Ltd. (Subsidiary of Sumitomo lineage)

c. Position

Nippon Electric Co., Ltd. Director

Manchurian Communication Works, Ltd. Auditor (concurrent)

Nichiden Industrial (Mining) Co., Ltd. " ( " )

Yamato Machine & Instrument Co., Ltd. " ( " )

d. Scheduled date of assumption of the position.

None.

8. All other positions and professions which you hold now.

Chief of Finance Division, Nippon Electric Co., Ltd.

9. Family relationship with the persons designated as Zaibatsu.

a. Existence or not of the relationship and its details, if any. (including relationship with the Zaibatsu family members.)

None.

b. Whether or not you were on the same family register with the designated persons on the day of their designation.

None.



註一、本欄の會社團體とは財閥會社に限らずあらゆる會社團體を含むものとし、團體中特に組合、協會、協議會等の經濟團體については詳細に記入すること

註二、職務内容に關し本人の地位から當然豫想せられる職務を事實上擔當していなかつた場合には本人が實際に擔當していた職務内容及び本人に代わり當該地位の管轄たるべき職務を事實上擔當していた者の氏名を記入すること

註三、本人が役員として又は役員の特遇の地位にて勤務した會社が財閥會社たる場合には、左の事項を附記すること

- (1) 本人の役員としての就任及び退任の時における當該會社の株式の割以上の所有者の氏名及び持株率
- (2) 本人が勤務した期間における他の役員の名、地位及び就任退任年月日

就職及び退職日附	會社團體等の名稱	地位(職員たる場合を含む)	職務内容(詳細に)	會社團體等の事業内容及び所在地
大正十一年三月十日	住友合資會社入社	經理部第一課 名古屋部係勤務	住友關係の名古屋關係經理部	株式會社住友本社 (住友合資會社) 本社 大阪市東区北浜五丁目二番地 事業内容 全住友事業の調整統合
自大正十一年八月一日 至、十四年七月四日	株式會社住友ビルディング 兼務		經理、庶務關係事務	株式會社住友ビルディング 本社 大阪市東区北浜五丁目二番地 事業内容 ビルディングの管理



<p>昭和二年八月三十日 至三月十六日</p>	<p>大阪高等工業学校</p>	<p>講</p>	<p>師 經濟原論の講義を担当</p>	<p></p>
<p>昭和八年四月十八日</p>	<p>住友合資会社東京支店</p>	<p>調査係長兼 会計係長</p>	<p>住友関係事業の他一般の調査 会計事務</p>	<p>東京支店...東京方面 諸般の事項管理</p>
<p>昭和八年十月十日</p>	<p>住友合資会社 林業部</p>	<p>林業部 總務課長</p>	<p>林業部...於ける財産の管理 會計用度人事庶務等の業務</p>	<p>林業部...林業</p>
<p>昭和十年十月一日</p>	<p>同社 瑞三舞鉢業部</p>	<p>瑞三舞鉢業部 經理課長</p>	<p>瑞三舞鉢山に於ける經理 會計等の業務</p>	<p>瑞三舞鉢山... 金銀鉱業</p>

(補助紙に續く)



10. Chronological record of profession and employment.

Note 1: "Organization or company" mentioned in this column include any organization or company other than Zaibatsu company. With reference to organizations, relationship with economic organizations such as union, association or conference etc. will particularly be given in detail.

Note 2: In case you did not, in fact, handle duties for which you have been authorized, duties and powers which you actually handled and name of the person who dealt with duties originally authorized for you will be given.

Note 3: With reference to the Zaibatsu company where you served as official or as a person accorded with the status of official, the following entries are additionally required.

- a. Name and stock-holding percentage of stock-holders owning 10 per cent or more of the total stock of the company at the time of your assumption of office and retirement.
- b. Name, position and dates of appointment and retirement of other officials of the company during the period when you served.

Dates of employment and retirement.	Name of company or organization where you served.	Status of the position (including position as ordinary personnel.)	Duties and powers (in detail).	Substance of business of organization or company where you served and its location.
Mar. 13, '22	Entered Sumitomo Limited Partnership.	Coal Section 1st Dept. Finance Div. under Sumitomo management.	Coal mining finance affairs	Sumitomo Head Office, Ltd. (Sumitomo Limited Partnership) 5-22, Kitahama, Higashi-ku, Osaka City. Substance of Business: Adjust and control of whole Sumitomo Enterprises.
Aug. 1, '23- Dec. 24, '25	Held an additional post of Sumitomo Building Co., Ltd.		Finance and general affairs.	Sumitomo Building Co., Ltd. 5-22, Kitahama, Higashi-ku, Osaka City. Substance of business: Lending of building space.



補助紙才三頁の(田尾本)

日本電気株式会社

就職及び退職日附	会社団体等の 名 稱	地位 (職員たる 場合を含む)	職務内容	会社団体内 の業務内容等 及在り地
昭和十一年九月一日	住友合資會社 北日本鉱業所	總務課長	人事庶務、經理購買、 販賣の外北日本鉱業所、 管下の鉱山(鴻之舞、余平、 同富、安部城、低込等)、 全取の事務總括業務	
昭和十一年三月一日	株式会社住友本社 北日本鉱業所 (住友合資會社解散の上設立)	總務課長		
昭和十六年七月一日	同 社 鴻之舞 鉱業所	副所長兼經理課長並才三 次増産施設臨時建設部副長	鴻之舞 鉱業所 副所長 として同所全取の事項 に關し部長を輔佐す 經理課長として同事業 所經理會計に關する事項 才三次増産施設臨時建 設部副長として政府 の命令による全鉱増産 に伴い、鴻之舞 鉱山に於け る、同所管内抗振張、副所長	



補助紙中三頁の二(田尾本)

日本電気株式会社

就職及び退職日附	会社団体等の 名 稱	地位 (職員たる 場合を含む)	職務内容	会社団体等 の事業内容 及び所在地
昭和十七年九月十日	株式会社住友本社 瑞三舞鏡業社退社		増設に伴う建設業務 の事務に關し部長 を輔佐す。	
同 日	住友通信工業株式会社 入社	總務部 副長	庶務、勤労厚生に關 し總務部長を輔佐し 事務あるときはその代 理をなす。	日本電気株式会社 (住友通信工業株式会社) 本社：東京都 港區三田四丁目二 番地 ○事業内容…… 電話機、交換機、放送 無線装置、搬送式電 信電話装置、寫真電 送装置、電氣計表 真空管等電氣に關 する装置、機械器具等 製造販売
昭和二十年四月十九日	同 社	經理部長兼總務部 副長	經理部長として会社經理 關係に全權に關する 事項	
昭和二十年七月一日	住友通信工業株式会社 より日本電気株式会社 社名変更			